

SuperTooltip for WinForms

2018.04.11 更新

グレースィティ株式会社

目次

はじめに	3
コンポーネントをプロジェクトに組み込む方法	3-4
コンポーネントのランタイムファイル	4
製品の概要	5
主な特長	6-7
クイックスタート	8
手順 1:プロジェクトへの C1SuperLabel の追加	8-11
手順 2:コントロールの Vista スタイル C1SuperTooltip の作成	11-13
手順 3:HTML コードによる C1SuperTooltip の作成	13
手順 4:ボタン用のコードの追加とプロジェクトの実行	13-15
設計時サポート	16
C1SuperTooltip のメニュー	16
C1SuperTooltip のタスクメニューとコンテキストメニュー	16-17
C1SuperLabel のタスクメニューとコンテキストメニュー	17
C1SuperErrorProvider のタスクメニューとコンテキストメニュー	17-18
C1SuperTooltip のエディタ	18
C1SuperTooltip エディタ	18-19
「Office」タブ	19-20
「Html」タブ	20-21
「プロパティ」タブ	21
プレビューペイン	21-22
C1SuperLabel エディタ	22
画像コレクションの編集エディタ	22-23
C1SuperTooltip の要素	24
ToolTip の要素	24-25
ラベル要素	25
ErrorProvider の要素	25
C1SuperTooltip の外観	26
C1SuperTooltip の背景のグラデーション	26-27
C1SuperTooltip の形状	27
C1SuperTooltip の影	27-28

タスク別ヘルプ	29
C1SuperTooltips の作成	29
デザイン時における C1SuperTooltips の作成	29-31
プログラムによる C1SuperTooltip の作成	31-32
カスケードスタイルシートを使用した C1SuperTooltip の作成	32-35
HTML を使用した C1SuperTooltip の追加	35
複数の C1SuperTooltips の追加	35-36
C1SuperTooltip の外観と動作の設定の変更	36-37
C1SuperTooltip への画像の追加	37-38
C1SuperLabels の作成	38
デザイン時における C1SuperLabels の作成	38-39
プログラムによる C1SuperLabel の作成	39-40
C1SuperLabel への画像の追加	40
C1SuperErrorProvider エラーメッセージの作成	41
エラーメッセージの作成	41
エラーメッセージアイコンの変更	41-42
エラーメッセージの点滅スタイルの変更	42
エラーアイコンの上にカーソルを置いたときに画像を表示する	42
C1SuperErrorProvider でのデータソースの使用	42-44

はじめに

SuperTooltip for WinForms により、HTML コンテンツを表示できる Vista スタイルのツールチップとラベルで視覚的効果を高めた WinForms アプリケーションを作成できます。**SuperTooltip for WinForms** は、標準のものよりはるかに速いスピードで HTML コンテンツをロードして表示し、さらに、Internet Explorer に依存しないため、WebBrowser コントロールによく付随するセキュリティ上の問題もありません。

SuperTooltip for WinForms は、カスケードスタイルシート、混在したフォントやテキスト色、書式付きテキスト、表、箇条書き／番号付きリストなど、ほとんどすべての HTML コンストラクタをサポートします。**SuperTooltip for WinForms** では、カスタマイズされたツールチップとラベルの可能性は無限です。

コンポーネントをプロジェクトに組み込む方法

コンポーネントの組み込み

Visual Studio では、ツールボックスにコンポーネントを追加しただけでは、プロジェクトにコンポーネントを追加したことにはなりません。プロジェクトの参照設定へ追加された時点でコンポーネントが組み込まれます。

以下のいずれかの操作を行うとプロジェクトへコンポーネントが組み込まれます。

1. フォームにコンポーネントを配置する
2. ソリューションエクスプローラ上で参照の追加を行う

プロジェクトに組み込まれているコンポーネントの一覧は、ソリューションエクスプローラで確認できます。また、各コンポーネントが使用している DLL もソリューションエクスプローラに登録される場合があります。詳細については、Visual Studio の製品ヘルプを参照してください。

本製品で使用しているコンポーネントの一覧を以下に示します。

ファイル	内容
C1.C1SuperTooltip.2.dll	本体アセンブリ
C1.C1SuperTooltip.4.dll	本体アセンブリ(※)
C1.C1SuperTooltip.4.Design.dll	デザイナアセンブリ(※)

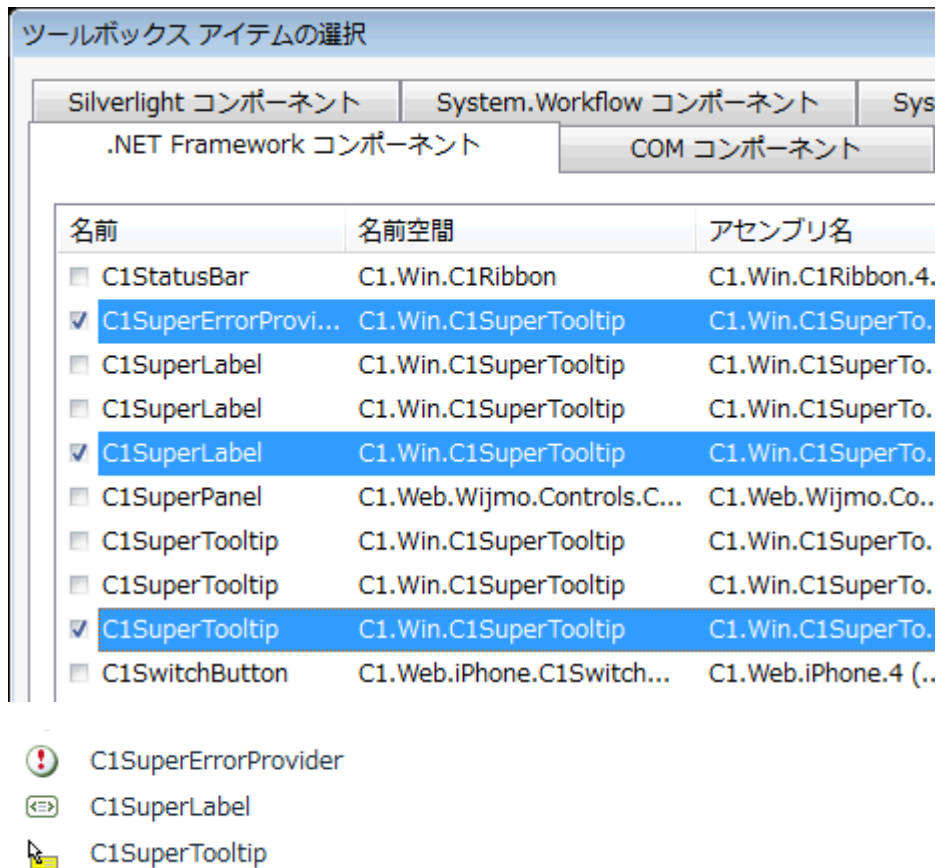
※ .NET Framework 4 以上でご利用いただけます。

フォームにコンポーネントを配置する方法

以下に、C1SuperTooltip コントロールをツールボックスに追加し、フォームに配置する方法を示します。これにより、コンポーネントがプロジェクトに組み込まれます。

配置手順

1. [ツール]メニューから[ツールボックス アイテムの選択]を選択します。
2. [ツールボックス アイテムの選択]ダイアログの「.NET Framework コンポーネント」タブを選択します。
3. 使用するコンポーネントのチェックボックスを ON にして<OK>ボタンをクリックしてください。ツールボックスに指定したコントロールのアイコンが表示されます。



4. ツールボックスから指定したコントロールのアイコンを選択してフォームに配置します。ソリューションエクスプローラの参照設定に指定したコントロールの名前空間が追加されます。

コンポーネントのランタイムファイル

SuperTooKit for WinForms のランタイムファイルは、C:\Program Files\ComponentOne\WinForms\Bin\ フォルダにインストールされる次のファイルです。

ファイル	内容
C1.C1SuperTooltip.2.dll	本体アセンブリ
C1.C1SuperTooltip.4.dll	本体アセンブリ(※)

※ .NET Framework 4 以上でご利用いただけます。

注意: 本製品に含まれているファイルのうち、上記以外のファイルは配布できません。

製品の概要

SuperTooltip for WinForms は、**C1SuperLabel** と **C1SuperTooltip** の2つのコンポーネントを含むライブラリです。

C1SuperLabel は標準の **Label** コントロールに似ており、C1SuperTooltip は標準の **ToolTip** コンポーネントに似ています。主な違いは、C1SuperLabel と C1SuperTooltip はプレーンテキストではなく HTML コンテンツを表示できるため、アプリケーションをビジュアルに拡張できます。

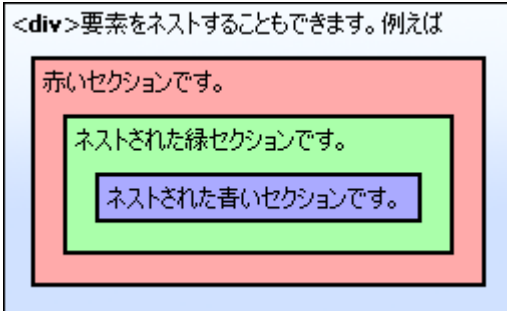
C1SuperTooltip は、Microsoft Internet Explorer® (IE)を使用せず、IE には依存しません。すべて C# で記述された独自の軽量 HTML パーサーおよびレンダラーを備えています。C1SuperTooltip レンダラーは、カスケードスタイルシート、テーブル、画像などのほとんどの HTML 機能をサポートします。

C1SuperTooltip は IE を使用しないため、C1SuperTooltip で表示される HTML コンテンツは、IE で表示される HTML コンテンツとは多少異なる場合があります。その一方で、コンテンツの読み込みと表示が高速になり、一般にブラウザコントロールに関連するセキュリティの問題には影響されません。

主な特長

SuperToolTip for WinForms を使用すると、アプリケーションの C1SuperTooltip コンポーネントまたは、C1SuperLabel コンポーネント内に次の項目を作成できます。

- ネストされた <div> 要素



- タグを使用した異なるフォントおよびテキスト色

段落でいろいろなフォントを混ぜたり、文字色を変更したりするために タグを使用してください。例えば、この文章のフォントサイズは 9pt、フォントは MS UI Gothic、フォント色は赤いです。この文章のフォントサイズは 10pt、フォントは MS Gothic、フォント色は緑です。

- <pre> タグを使用した書式設定済みテキスト

Html ツールチップは対象項目の概要説明を見せるには最適です。<pre>タグでコードをフォーマットすることもできるし、背景とインデントを設定することもできます:

```
string tipText = "Hello <b>World</b>";
C1SuperTooltip.SetTooltip(control, tipText);
```

上記のコードにより太字単語のあるツールチップを作成できます。

- 段落の配置

左揃えの段落です。左揃えの段落です。左揃えの段落です。左揃えの段落です。

中央揃えの段落です。中央揃えの段落です。中央揃えの段落です。中央揃えの段落です。

右揃えの段落です。右揃えの段落です。右揃えの段落です。右揃えの段落です。

両端揃えの段落です。両端揃えの段落です。両端揃えの段落です。両端揃えの段落です。

- テーブルの書式設定、テーブルのネスト、行および列の結合

テーブル:

下の表はいくつかの製品の売上高をリストアップしたものです:

三行をまたぐ結合セル。	セメスター1					
	四半期 1			四半期 2		
	一月	二月	三月	四月	五月	六月
Widgets	12	23	23	43	23	34
Sprockets	45	32	23	23	34	43
Gaskets	45	55	53	34	45	78
Doodads	23	3	3	11	23	3


- リストのネスト、箇条書きリスト、番号付きリスト

主な機能の一覧です:

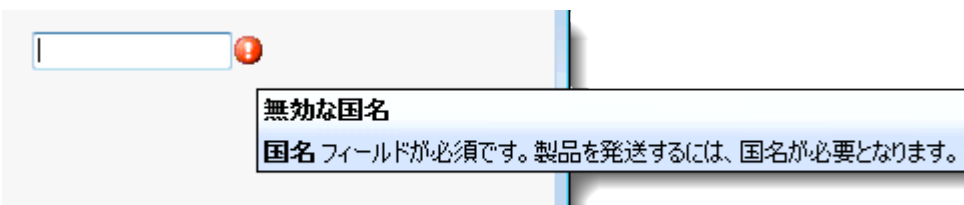
1. リスト
 - ネストされたリスト
 - 番号付きおよび箇条書きリスト
2. テーブル
3. 画像
4. インライン スタイル
5. カスケードスタイルシート

- アプリケーションリソースから読み込んだ画像

画像を表示する表(テーブル)です:

 newToolStripMenuItem のアイコンです。
 openToolStripMenuItem のアイコンです。
 saveToolStripMenuItem のアイコンです。

- 書式設定された HTML エラーメッセージ



- プレーンテキストおよびカスケードスタイルシート

クイックスタート

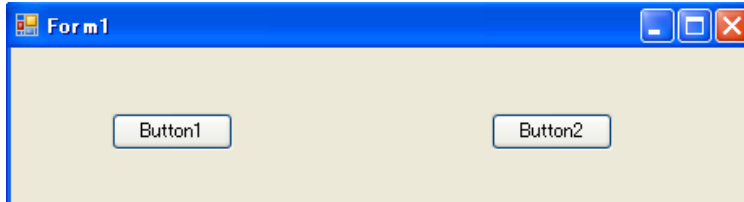
クイックスタートでは、Microsoft Vista スタイルの **C1SuperTooltip** と **C1SuperLabel** をフォーム上に追加する方法について説明します。

手順 1: プロジェクトへの C1SuperLabel の追加

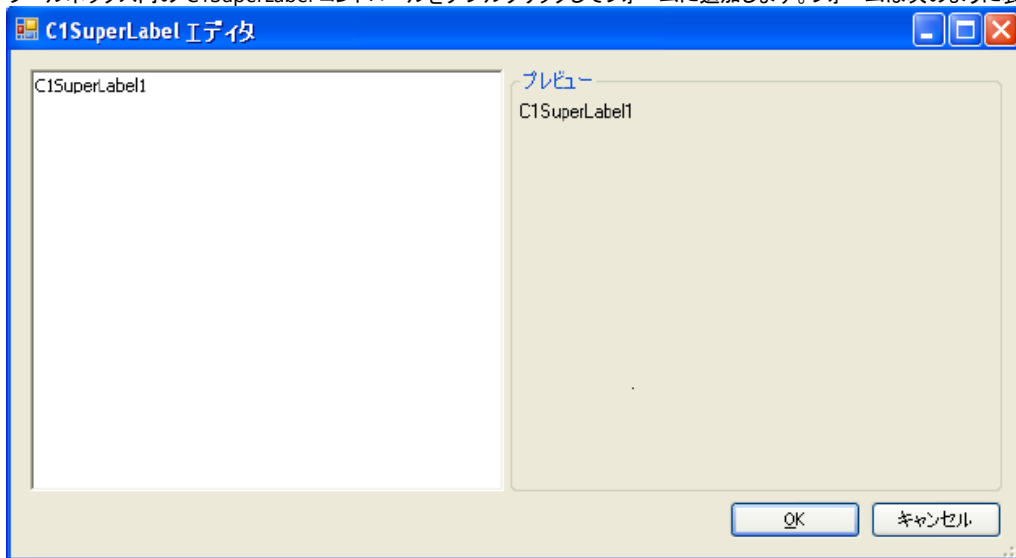
プロジェクトに **C1SuperLabel** コントロールを追加し、それにいくつかの HTML コードを追加することから開始します。

プロジェクトに C1SuperLabel を追加するには、以下の手順を実行します。

1. 新しいプロジェクトを作成し、2つのボタンコントロールをフォームに追加します。

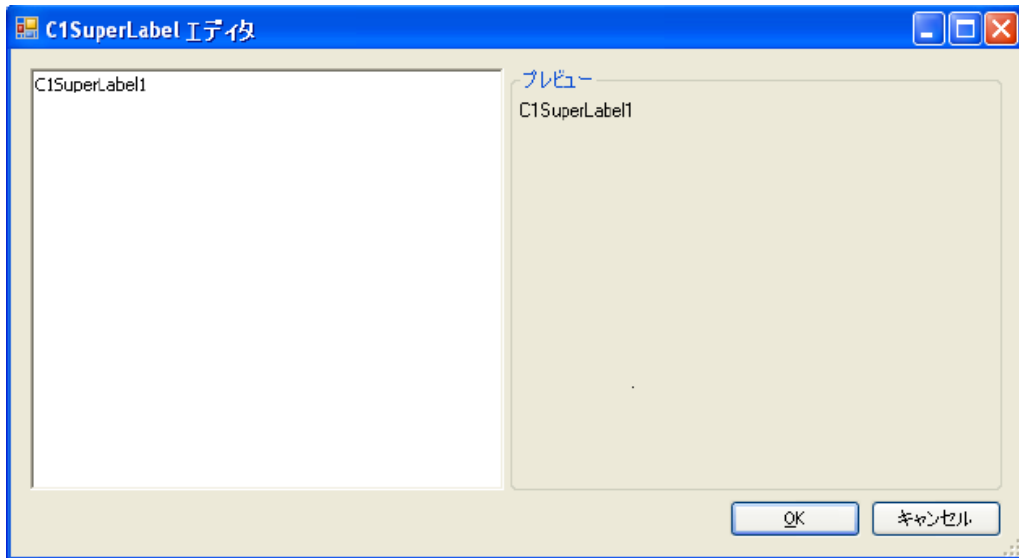


2. **Button1** コントロールを右クリックし、[プロパティ]を選択して、プロパティウィンドウを表示します。
3. **Text** プロパティの横に「**C1SuperLabel の表示**」と入力し、テキストが表示されるようにボタンのサイズを変更します。
4. **Button2** コントロールを選択し、**Text** プロパティの横に「C1SuperLabel の非表示」と入力します。テキストが表示されるようにボタンのサイズを変更します。
5. ツールボックスに、C1SuperTooltip for WinForms のコンポーネントを追加します。
6. ツールボックス内の C1SuperLabel コントロールをダブルクリックしてフォームに追加します。フォームは次のように表示されます。



7. プロパティウィンドウで、C1SuperLabel の **Text** プロパティの横にある省略符ボタンをクリックします。**C1SuperLabel エディタ**が表示されます。

SuperTooltip for WinForms



8. エディタのテキストボックスに HTML コードを追加します

▶ (ここをクリックをするとコードが表示されます)。

これらは**C1SuperTooltip**を用いて表示できるものの例です:

Lists:

ネストされたリスト

番号付きおよび箇条書きリスト

テーブル:<p>下の表はいくつかの売上高をリストアップしたものです:</p>

```
<table border='1' bordercolor='black' cellpadding='2' cellspacing='0' style='border:solid 1 black;'>
```

```
<tr bgcolor='LightSteelBlue'>
```

```
<th style="width:150px; text-align: center;" rowspan='3'>
```

```
<p>三行をまたぐ結合セル。</p></th>
```

```
<th align='center' colspan='6'>Semester 1</th>
```

```
</tr>
```

```
<tr bgcolor='LightSteelBlue'>
```

```
<th align='center' colspan='3'>Quarter 1</th>
```

```
<th align='center' colspan='3'>Quarter 2</th>
```

```
</tr>
```

```
<tr bgcolor='LightSteelBlue'>
```

```
<td align='center'>一月</td>
```

```
<td align='center'>二月</td>
```

```
<td align='center'>三月</td>
```

```
<td align='center'>四月</td>
```

```
<td align='center'>五月</td>
```

```
<td align='center'>六月</td>
```

```

</tr>
<tr>
  <td align='right' style='width: 150px'><strong>Widgets</strong></td>
  <td>12</td>
  <td>23</td>
  <td>23</td>
  <td>43</td>
  <td>23</td>
  <td>34</td>
</tr>
<tr>
  <td align='right' style='width: 150px'><strong>Sprockets</strong></td>
  <td>45</td>
  <td>32</td>
  <td>23</td>
  <td>23</td>
  <td>34</td>
  <td>43</td>
</tr>
</table>
</li>
<li>画像:C1SuperLabel の背景として画像が設定されています。</li>
<li>境界線:<p style='border: #336633 thick'>ボールド境界線。p>
</li>
<li>整形済みテキスト:
  <pre style="background-color:#dddddd; margin:0 20pt 0 20pt;">
string tipText = "Hello &lt;b>World&lt;/b>";
<b>C1SuperTooltip</b>.SetToolTip(control, tipText);
  </pre>
</li>
<li>ネスト化:
  <div style="background-color:#ffaafa;border:solid thin black;margin:10px;padding:4px">
    赤いセクションです。
    <div style="background-color:#aaffaa;border:solid thin black;margin:10px;padding:4px">
      This is a nested green div.
      <div style="background-color:#aaffff;border:solid thin black;margin:10px;padding:4px">
        ネストされた青いセクションです。
      </div>
    </div>
  </div>

```

</div>

9. プロパティウィンドウで、**BackColor** プロパティの横にあるドロップダウン矢印をクリックし、**[Web]**タブを選択して、**[白]**を選択します。
10. C1SuperLabel コントロールに画像を追加します。
 - **BackgroundImage** プロパティの横にある**省略符**ボタンをクリックします。**[リソースの選択]**ダイアログボックスが表示されます。
 - **[ローカルリソース]**を選択し、**<インポート>**ボタンをクリックします。**[開く]**ダイアログボックスが表示されます。
 - **TipBackground.png** を検索して選択するか、別のグラフィックを選択し、**[開く]**をクリックします。デフォルトでは、C1SuperTooltip サンプルと共に **TipBackground.png** 画像がインストールされ、<ユーザフォルダ>\Samples\WindowsForms\C1WindowsForms_Samples_CS\C1SuperTooltip\SuperTooltips\Resources フォルダに置かれています。
 - **<OK>**をクリックします。
11. **BackgroundImageLayout** プロパティの横にあるドロップダウン矢印をクリックし、**[拡大]**を選択します。
12. **Visible** プロパティを **False** に設定します。

手順 2: コントロールの Vista スタイル C1SuperTooltip の作成

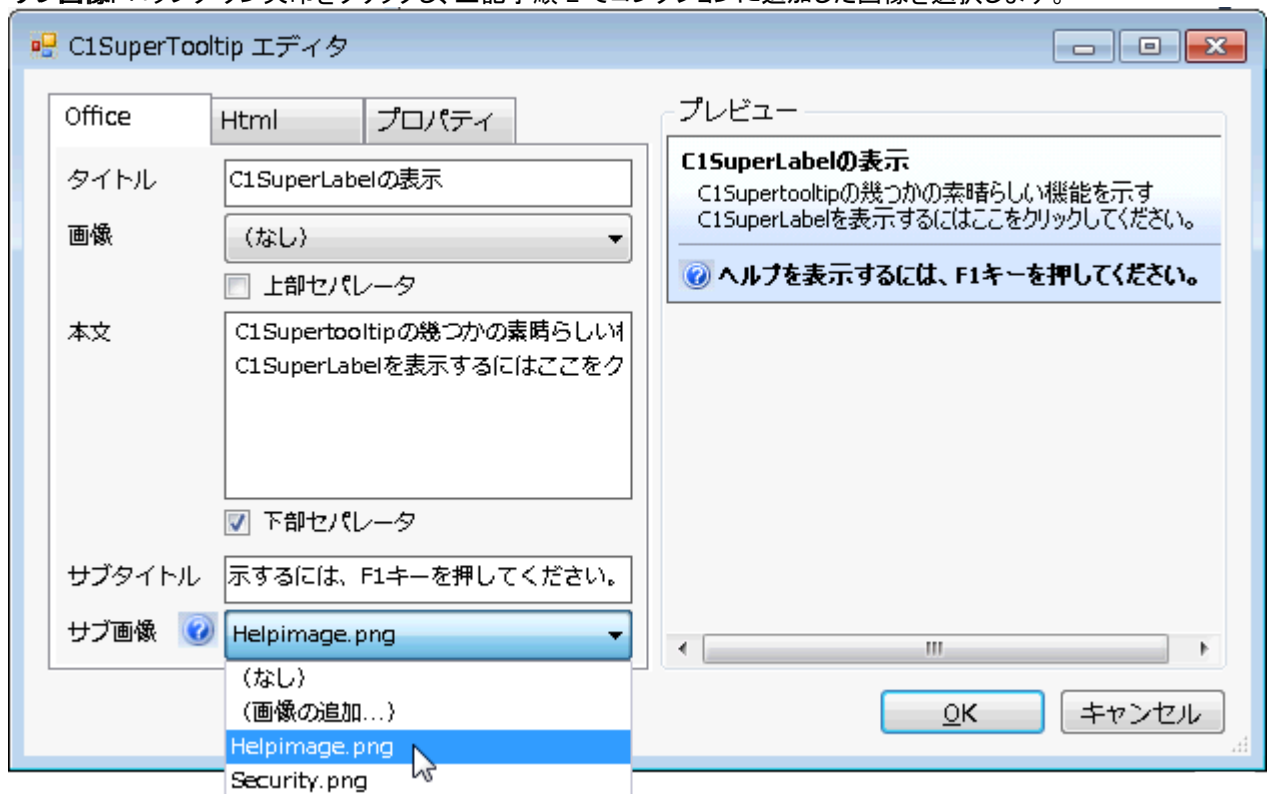
次に、**C1SuperTooltip エディタ**の「**Office**」タブを使用して Microsoft Vista スタイルの **C1SuperTooltip** を作成します。これを行うには、以下の手順を実行します。

1. ツールボックスの C1SuperTooltip コントロールをダブルクリックしてフォームに追加します。
2. まず、ツールチップの画像コレクションに画像を追加します。ツールチップのサブ画像として使用される小さなヘルプグラフィックを使用します。
 1. **C1SuperTooltip1** を選択し、プロパティウィンドウで **Images** プロパティの横にある**<...>**ボタンをクリックします。**画像の編集コレクション**エディタが表示されます。
 2. **<追加>**ボタンをクリックし、希望する画像ファイルを見つけて選択します。
 3. 画像をコレクションに追加したら、**<OK>**をクリックします。少し後で、この画像をツールチップに指定します。
3. **Button1** コントロールを右クリックして**[プロパティ]**を選択し、プロパティウィンドウを表示します。
4. **C1SuperTooltip1** プロパティの**ツールチップ**の横の**<...>**ボタンをクリックすると、**C1SuperTooltip エディタ**が表示されます。
5. 「**Office**」タブで、**タイトル**のテキストボックスに「**C1SuperLabel の表示**」を入力します。
6. **[本文]**テキストボックスに、以下のテキストを入力します。C1SuperTooltip の幾つかの素晴らしい機能を示す C1SuperLabel を表示するにはここをクリックしてください。

C1SuperTooltipのプレビューが**プレビュー**ウィンドウに表示されることに注意してください。



7. ツールチップを複数行に表示させるには、**本文**に表示する単語の後ろにカーソルを置き、**[Enter]**キーを押します。
8. 「Office」タブから、本文を書式設定することもできます。**C1SuperLabel** を選択して右クリックし、コンテキストメニューから**[太字]**を選択するか、キーボードで Ctrl + B を押します。同じ操作を **C1SuperTooltip** に対して実行します。
9. **[下部セパレータ]**チェックボックスを ON にします。
10. **[サブタイトル]**テキストボックスに、以下のテキストを入力します。
ヘルプを表示するには、[F1]キーを押してください。
11. **サブ画像**ドロップダウン矢印をクリックし、上記手順 2 でコレクションに追加した画像を選択します。



C1SuperTooltipはツールチップの書式設定に使用する **HTML** を自動的に作成するので、作成する必要はないことに注意してください。HTML コードを表示するには、「Html」タブをクリックします。このクイックスタートの「**手順 3:HTML**」

SuperTooltip for WinForms

コードによる **C1SuperTooltip の作成** トピックでは、HTML コードのみを使用してツールチップを作成します。

12. エディタで「プロパティ」タブをクリックします。
13. **BackgroundGradient** プロパティの横のドロップダウン矢印をクリックして、**Vista** を選択します。ツールチップの背景とレイアウトが Microsoft Vista ツールチップスタイルに変更されました。
14. **<OK>** をクリックし、**C1SuperTooltip エディタ** を閉じます。

手順 3: HTML コードによる C1SuperTooltip の作成

C1SuperTooltip エディタ で、HTML コードのみを使用して **C1SuperTooltip** を作成します。以下の手順を実行します。

1. **Button2** コントロールを選択します。
2. **C1SuperTooltip1** プロパティのツールチップの横の **<...>** ボタンをクリックして、**C1SuperTooltip エディタ** を開きます。
3. **Html** タブをクリックし、以下の HTML マークアップを入力します。

```
<table><tr>
<parm></parm>

<th><parm>C1SuperLabelの非表示</parm></th>

</table>

<parm></parm>

<div style='margin:1 12'><parm>
<b>C1SuperLabel</b>を非表示にするには、ここをクリックしてください。

</parm></div>

<parm><hr noshade size=1 style='margin:2' color=Darker></parm>

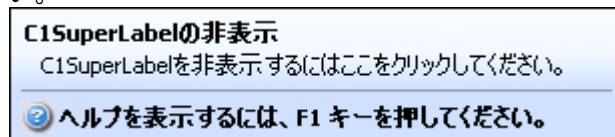
<table><tr>

<th><parm><img src='HelpButton.png'></parm></th>

<th><parm>ヘルプを表示するには、[F1]キーを押してください。</parm></th>

</table>
```

4. **<OK>** をクリックし、**C1SuperTooltip エディタ** を閉じます。ツールチップが次のように表示されることに注意してください。



手順 4: ボタン用のコードの追加とプロジェクトの実行

C1SuperLabel と **C1SuperTooltips** を作成すると、フォーム上のボタンに使用するコードを追加し、プロジェクトを実行できます。これを行うには、以下の手順を実行します。

1. **Button1** をダブルクリックし、以下のコードを **Button1_Click** イベントに追加します。

▶ Visual Basic コードの書き方

```
Visual Basic
```

```
C1SuperLabel1.Visible = True
```

▶ C# コードの書き方

```
C#
c1SuperLabel1.Visible = true;
```

2. **Button2** をダブルクリックし、**Button2_Click** イベントにコードを追加します。

▶ Visual Basic コードの書き方

```
Visual Basic
C1SuperLabel1.Visible = False
```

▶ C# コードの書き方

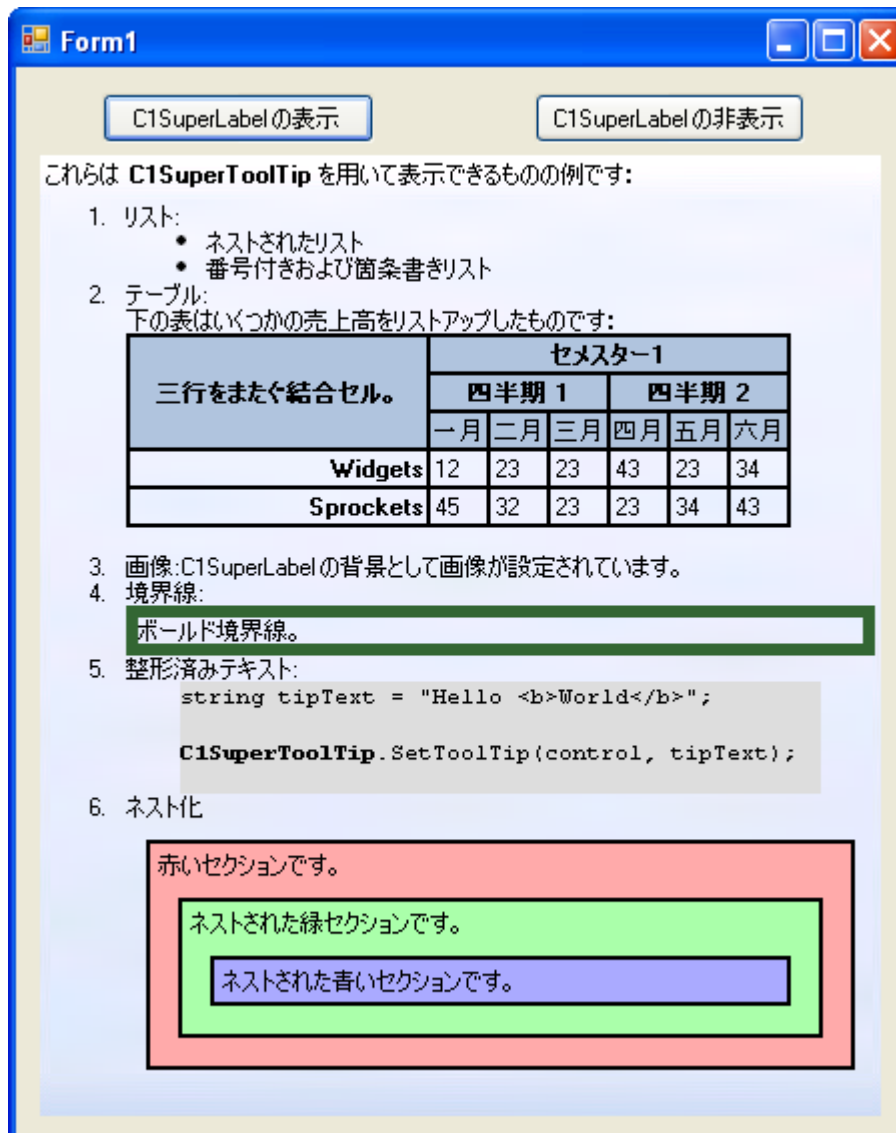
```
C#
c1SuperLabel1.Visible = False;
```

3. プロジェクトを実行し、**Button1** の上にポインタを置きます。ツールチップが Vista 形式の **C1SuperTooltip** になっていることを確認してください。

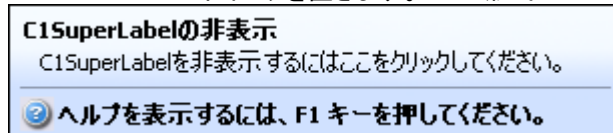
C1SuperLabel の表示
 C1Supertooltip のいくつかの素晴らしい機能を示す
 C1SuperLabelを表示するにはここをクリックしてください。

🔗 ヘルプを表示するには、F1 キーを押してください。

4. **Button1** をクリックします。The **C1SuperLabel** が表示されます。



5. **Button2** の上にポインタを置きます。Vista 形式の **C1SuperTooltip** が次のように表示されます。



Button2 のツールチップ内のテキストは HTML マークアップを通じて適用されましたが、**C1SuperTooltip Vista** の背景スタイルは両方のツールチップに表示されることに注意してください。**C1SuperTooltip エディタ**を使用して設定したプロパティは、その **C1SuperTooltip**に関連付けられたコントロールのすべてのツールチップと同じです。

6. **C1SuperLabel** の非表示 をクリックすると、**C1SuperLabel** が非表示になります。

設計時サポート

SuperTooltip for WinForms は、ツールチップを簡単に作成できるビジュアル編集機能を提供します。以下のセクションでは、**C1SuperTooltip** のデザイン時環境を使用して、**SuperTooltip for WinForms** コントロールの設定方法について説明します。

タスクメニュー

スマートタグは、各コントロールで最もよく使われるプロパティにアクセスできるショートカットタスクメニューを表します。コントロールの右上端のスマートタグ()をクリックして、各コントロールのタスクメニューを呼び出すことができます。詳細については、**C1SuperTooltip** のメニューを参照してください。

コンテキストメニュー

また、タスクメニューのショートカットの一部は、各コントロールのコンテキストメニューからアクセスすることもできます。各コントロールのコンテキストメニューは、コントロールを右クリックすることで呼び出せます。

プロパティウインドウ

また、Visual Studio のプロパティウインドウを使用して、デザイン時に簡単に **C1SuperTooltip** を設定できます。プロパティウインドウを開くには、コントロールを右クリックして、[プロパティ]を選択します。

エディター

また、C1SuperTooltip エディタを使用して、デザイン時に C1SuperTooltip を簡単に設定することもできます。エディタは、プロパティウインドウから開けます。詳細についてはまた、C1SuperTooltip エディタを使用して、デザイン時に C1SuperTooltip を簡単に設定することもできます。エディタは、プロパティウインドウから開けます。詳細については **C1SuperTooltip** のエディタを参照してください。

C1SuperTooltip のメニュー

以下のセクションでは、**C1SuperTooltip** のタスクメニューとコンテキストメニューを使用して、**SuperTooltip for WinForms** コントロールを設定する方法について説明します。

C1SuperTooltip のタスクメニューとコンテキストメニュー

C1SuperTooltip タスクメニュー

C1SuperTooltip タスクメニューにアクセスするには、**C1SuperTooltip** コントロール右上のスマートタグをクリックします。**C1SuperTooltip** タスクメニューが表示されます。**C1SuperTooltip** タスクメニューから、IsBalloon プロパティと BackgroundGradient プロパティを設定できます。



- **吹き出し型**
このチェックボックスは、ツールチップを四角いボックスではなく、吹き出し型で表示したいときに ON にします。
- **Background Gradient**
ツールチップの背景のグラデーションを指定します。[自動] (現在のシステム視覚スタイル)、[青]、[金]、[なし]、[オリーブ]、[銀]、[Vista] (Microsoft Vista スタイル) から選択できます。

SuperTooltip for WinForms

- **C1SuperTooltip** について
C1SuperTooltip ダイアログボックスが開き、バージョン番号、ライセンス、登録、および購入情報、その他のオンラインリソースが表示されます。

C1SuperTooltip Context Menu

C1SuperTooltip のコンテキストメニューにアクセスするには、C1SuperTooltip コンポーネントを右クリックします。C1SuperTooltip コンテキストメニューが表示されます。

C1SuperLabel のタスクメニューとコンテキストメニュー

C1SuperLabel タスク メニュー

C1SuperLabel タスク メニューにアクセスするには、C1SuperLabel コントロール右上のスマートタグをクリックします。C1SuperLabel タスク メニューが表示されます。ラベルを編集 をクリックすると、C1SuperLabel エディタが開きます。



- **C1SuperLabel** について
C1SuperTooltip について ダイアログボックスが開き、バージョン番号、ライセンス、登録、および購入情報、その他のオンライン情報が表示されます。
- **ラベルを編集**
C1SuperLabel エディタが開き、HTML コードを追加して、C1SuperLabel を作成できます。

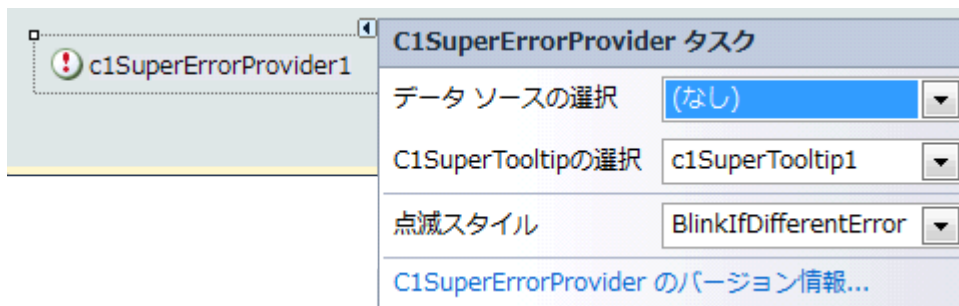
C1SuperTooltip のコンテキストメニュー

C1SuperTooltip のコンテキストメニューにアクセスするには、C1SuperTooltip コンポーネントを右クリックします。C1SuperTooltip コンテキストメニューが表示されます。ラベルを編集 を選択すると、C1SuperLabel エディタが開きます。

C1SuperErrorProvider のタスクメニューとコンテキストメニュー

C1SuperErrorProvider タスク メニュー

C1SuperErrorProvider タスク メニューにアクセスするには、C1SuperErrorProvider コントロール右上のスマートタグをクリックします。The C1SuperErrorProvider タスクメニュー が表示されます。



- **データソースを選択**
このドロップダウンを使用して、コントロールに接続し、エラーを監視するデータソースを選択します。
- **C1SuperTooltip を選択**
このドロップダウンをクリックし、C1SuperTooltip を選択して、エラープロバイダコンポーネントに関連付けます。C1SuperTooltip はエラー説明テキストの表示に使用されます。マウスポインタをエラーアイコンの上に置いたときに、

エラーメッセージが表示されるようにするには、この設定が必要です。ただし、内容は空でも構いません。空の場合、エラーアイコンはツールチップに関連付けられません。

- **点滅スタイル**
デフォルトエラーメッセージアイコンの表示方法を、**BlinkIfDifferentError**, **AlwaysBlink**, **NeverBlink** から選択します。
- **C1SuperErrorProvider について**
C1SuperTooltip について ダイアログボックスが開き、バージョン番号、ライセンス、登録、および購入情報、その他のオンラインリソースが表示されます。

C1SuperErrorProvider Context Menu

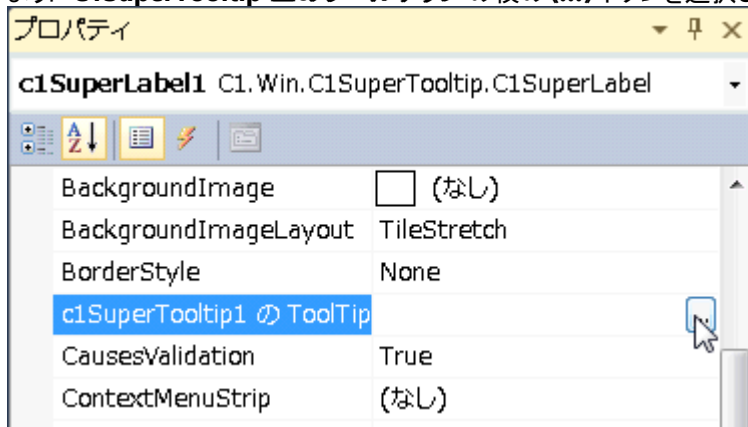
C1SuperErrorProvider のコンテキストメニューにアクセスするには、C1SuperErrorProvider コンポーネントを右クリックします。**C1SuperErrorProvider** コンテキストメニューが表示されます。

C1SuperTooltip のエディタ

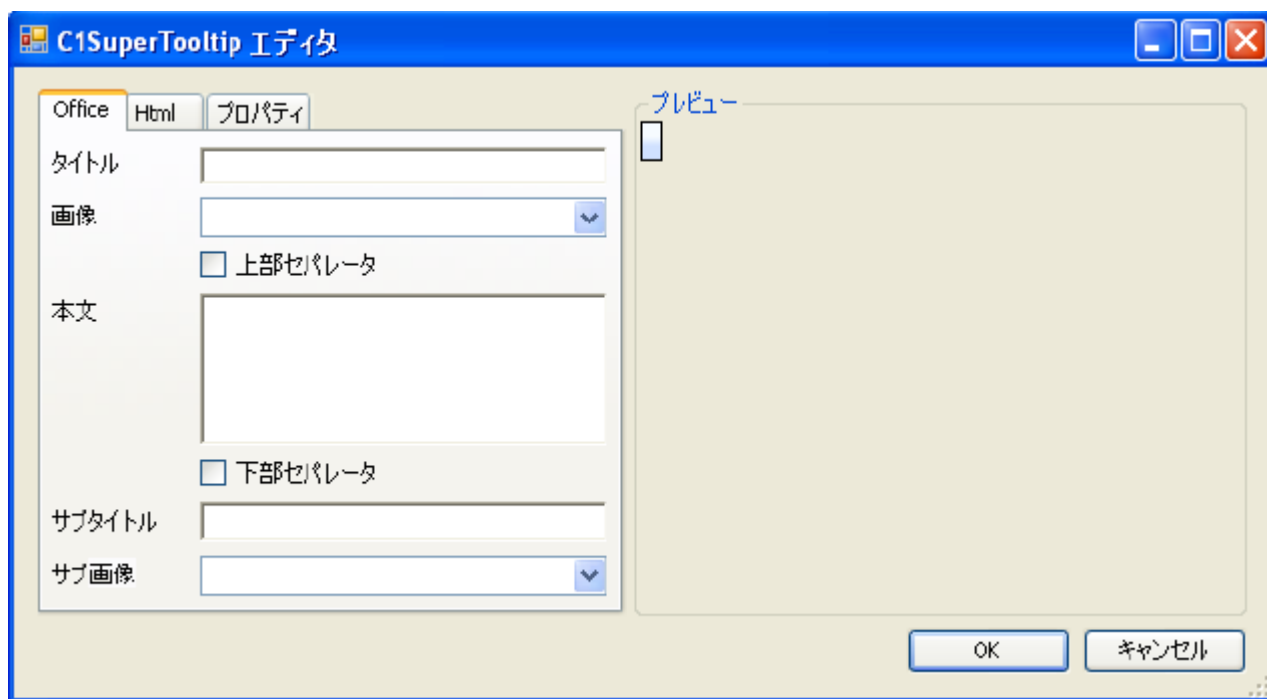
以下のセクションでは、**C1SuperTooltip** のエディタを使用して、**C1SuperTooltip** コントロールを設定する方法について説明します。

C1SuperTooltip エディタ

C1SuperTooltip エディタにアクセスするには、ツールチップを配置するコントロールのプロパティウィンドウを開き、次の図のように**C1SuperTooltip** 上の**ツールチップ**の横の<...>ボタンを選択します。**C1SuperTooltip エディタ**が表示されます。



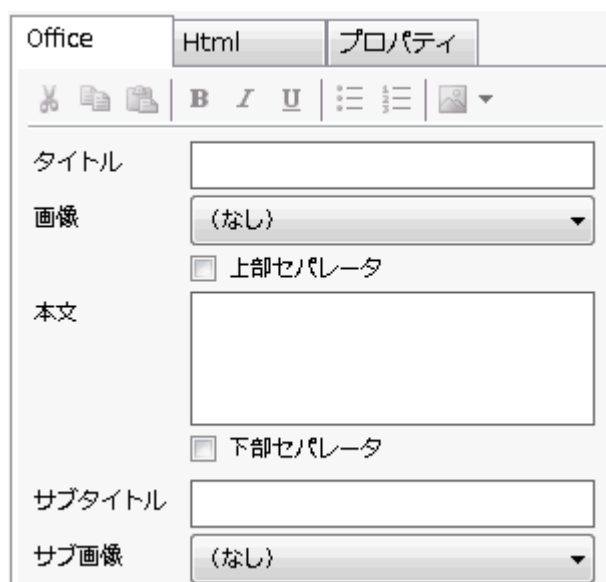
C1SuperTooltip エディタは、左側にタブ型デザインペインがあり、ツールチップの外観とコンテンツを変更できます。右側にはプレビューペインがあり、ツールチップに加えられた変更を確認できます。



デザイン時にツールチップのコンテンツを作成する方法は2つあります。**Office** タブを使用する方法と、**Html** タブを使用して独自の HTML コードを手動で入力する方法です。**プロパティ** タブでは、ツールチップの外観と動作の設定を変更できます。

「Office」タブ

C1SuperToolTip エディタでは、**Office** タブを使用して、タイトルの画像、タイトル、サブツールチップ、および本文を追加できます。ツールチップの背後にあるすべての HTML コードは、**C1SuperTooltip** によって自動的に作成され、時間と作業を節約できます。次の図に示すように、**Office** タブのさまざまな要素を使用して、ツールチップのコンテンツをカスタマイズできます。



タイトル

これはツールチップの一番上に表示されるテキストです。HTML コードを追加して、タイトルテキストの外観をカスタマイズできます。

画像

タイトルの左側に表示される画像です。画像を追加するには、ドロップダウン矢印をクリックして、**画像の追加** を選択します。**画像コレクションの編集 エディタ** を使用して追加した画像がリストされ、ツールチップに追加できます。

上部セパレータ

このチェックボックスを ON にすると、ツールチップに上部セパレータが追加されます。上部セパレータは、ツールチップのタイトルと本文の間に表示される暗いグレーの横線です。

本文

本文は、ツールチップの主要コンテンツです。HTML を追加して、本文の外観をカスタマイズできます。

下部セパレータ

このチェックボックス ON にすると、ツールチップに下部セパレータが追加されます。下部セパレータはツールチップの本文とサブタイトルテキストの間に表示される暗いグレーの横線です。

サブタイトル

ツールチップの本文の下に表示されるテキストです。HTML コードを追加して、タイトルテキストの外観をカスタマイズできます。

サブイメージ

サブイメージサブタイトルの左に表示される画像です。画像を追加するには、ドロップダウン矢印をクリックして、**画像の追加** を選択します。**画像コレクションの編集エディタ** を使用して追加した画像がリストされ、ツールチップに追加できます。

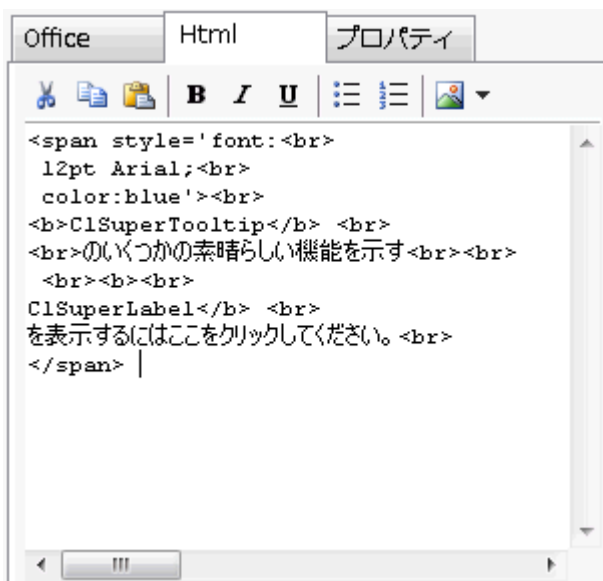
Office タブを使用したタイトルの作成の詳細については **デザイン時における C1SuperTooltips の作成** トピックを参照してください。

「Html」タブ

C1SuperToolTip エディタ の **Html** タブでは、**Office** タブで加えた変更を反映する HTML コードを表示・編集できます。また、エディタによる自動化を求めない場合は、**Html** で独自の HTML コードをすべて入力してツールチップを作成することもできます。**Html** タブでツールチップを作成することで、ツールチップの各行をより細かく制御できます。

Html タブでは、**切り取り**、**コピー**、**貼り付け**、**太字**、**斜体**、**下線**、**箇条書きリスト**、**番号付きリスト**、**画像の挿入** の各ボタンを使用してツールチップの書式を設定できます。

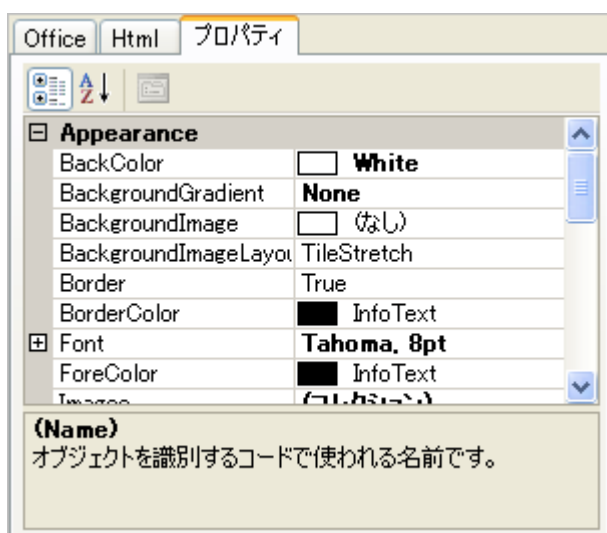
SuperTooltip for WinForms



Html タブを使用したツールチップの作成の詳細については、[HTML を使用した C1SuperTooltip の追加トピック](#)を参照してください。

「プロパティ」タブ

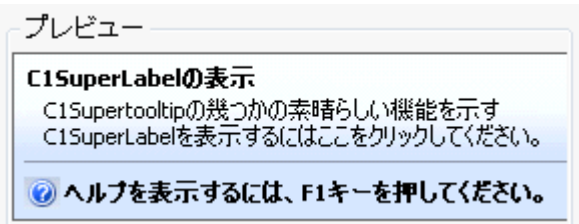
C1SuperTooltip エディタの **プロパティ** タブでは、ツールチップの全体的な外観と動作をカスタマイズできます。設定はツールチップが関連付けられているすべてのコントロールに適用されます。エディタの **プロパティ** タブで使用できる設定は、**C1SuperTooltip** のプロパティウィンドウのものと同じですが、「プロパティ」タブのメリットは、**プレビューペイン** でコンテンツと外観の変更をすばやくプレビューできる点です。



Properties タブを使用したツールチップの外観と動作の設定の変更の詳細については、[C1SuperTooltip の外観と動作の設定の変更](#)トピックを参照してください。トピックを参照してください。トピックを参照してください。

プレビューペイン

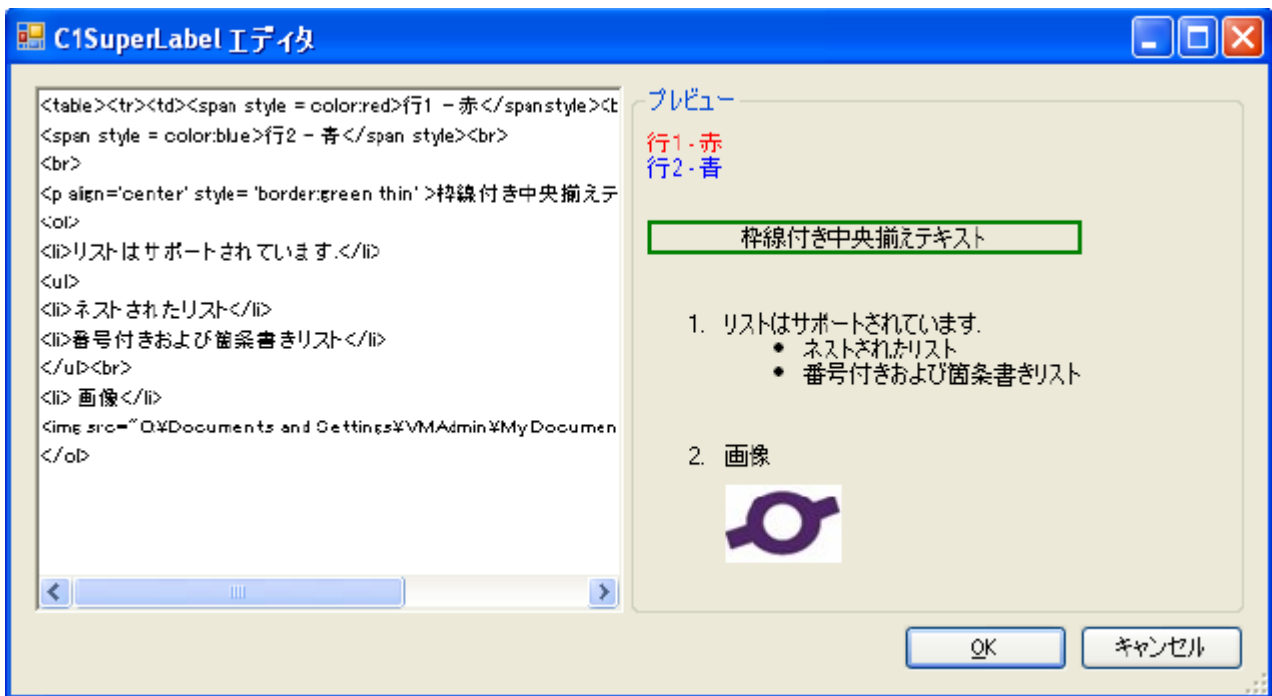
C1SuperTooltip エディタの**プレビューペイン**では、ツールチップをプレビューできます。**プレビューペイン**は、**C1SuperTooltip** エディタの右側に表示され、ツールチップに加えた変更がすべて反映されます。ツールチップのコンテンツと外観が視覚化され、簡単に変更できます。



C1SuperLabel エディタ

C1SuperLabel エディタ にアクセスするには、**C1SuperLabel タスク** メニューから **ラベルを編集** を選択します。**C1SuperLabel エディタ**が表示されます。

C1SuperLabel エディタ を使用して、**C1SuperLabel** のコンテンツと外観を制御できます。次の図に示すように、**C1SuperLabel エディタ**の左側のテキスト領域にテキストや HTML コードを入力し、右側のプレビュー領域でコンテンツをプレビューします。



The **C1SuperLabel エディタ** には、**切り取り**、**コピー**、**貼り付け**、**太字**、**斜体**、**下線**、**箇条書きリスト**、**番号付きリスト**、**画像の挿入**の各ボタンを使用して、ラベルの書式を設定できます。

画像コレクションの編集エディタ

C1SuperTooltip コンポーネントで使用する画像は、**画像コレクションの編集** エディタから追加できます。**画像コレクションの編集** エディタは、**C1SuperTooltip** コンポーネントと **C1SuperLabel** コントロールのプロパティウィンドウからアクセスできます。

C1SuperTooltip から画像コレクションの編集エディタへのアクセス

画像コレクションの編集エディタを開くには、**C1SuperTooltip** コントロールを選択し、プロパティウィンドウの **Images** プロパティの横にある (...) ボタンをクリックします。**画像コレクションの編集** エディタが表示されます。

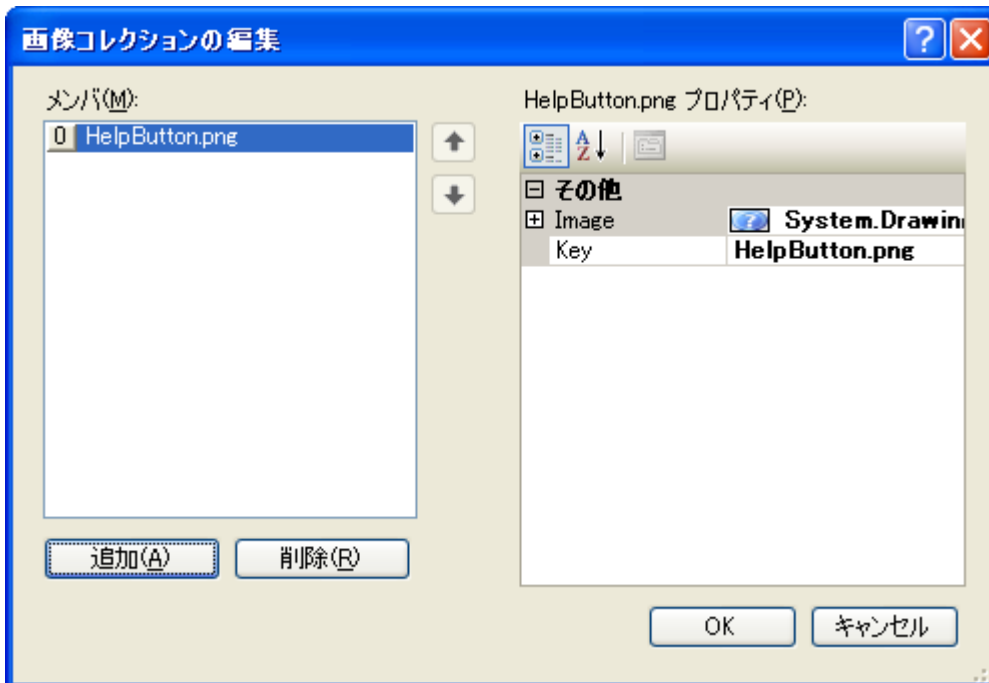
C1SuperLabel から画像コレクションの編集エディタへのアクセス

画像コレクションの編集エディタを開くには、**C1SuperTooltip** コントロールを選択し、プロパティウィンドウで **Images** プロパ

SuperTooltip for WinForms

ティの横の<...>ボタンをクリックします。画像コレクションの編集 エディタが表示されます。

画像コレクションの編集 エディタの左ペインでは、どの画像メンバが追加されたかを確認し、コレクションに画像を追加／削除できます。右ペインでは、次の図に示すように、各画像のプロパティを表示し、変更することができます。エディタの左ペインでは、どの画像メンバが追加されたかを確認し、コレクションに画像を追加／削除できます。右ペインでは、次の図に示すように、各画像のプロパティを表示し、変更することができます。



C1SuperTooltip コントロールへの画像の追加は簡単です。詳細については、[C1SuperTooltip への画像の追加](#)と [C1SuperLabel への画像の追加](#)を参照してください。

C1SuperTooltip の要素

このセクションでは、**C1SuperToolTip** コントロールと **C1SuperLabel** コントロールを構成している各要素について、概要を図解します。

ToolTip の要素

C1SuperTooltip コントロールは、複数の要素で構成され、**C1SuperTooltip エディタ**の **Office** タブから変更できます。**C1SuperTooltip エディタ**とその要素の詳細については、「**Office**」タブ タブを参照してください。

注意: HTML コードを直接 C1SuperTooltip に入力するか、C1SuperTooltip をプログラムで追加する場合、要素は自動的に追加されないため、HTML コードを使用して手動で書式設定する必要があります(横線タグ で区切り線を入れるなど)。



タイトル

ツールチップの一番上に表示されるテキストです。HTML コードを追加して、タイトルテキストの外観をカスタマイズすることができます。

画像

タイトルの左に表示される画像です。画像は、**C1SuperTooltip エディタ**から追加するか、**画像コレクションの編集エディタ**を使用してコレクションに追加します。

上部セパレータ

上部セパレータは、ツールチップのタイトルと本文の間に表示される横線です。上部セパレータは、**C1SuperTooltip エディタ**の **Office** タブから追加できます。または、<hr> タグを使用して HTML コードに横線を追加します。

本文

本文は、ツールチップの主要コンテンツです。HTML を追加して、本文の外観をカスタマイズすることができます。

下部セパレータ

下部セパレータは、ツールチップの本文とサブタイトルの間に表示される横線です。下部セパレータは、**C1SuperTooltip エディタ**の **Office** タブから追加できます。または、<hr> タグを使用して HTML コードに横線を追加します。

サブタイトル

ツールチップの本文の下に表示されるテキストです。HTML コードを追加して、サブタイトルテキストの外観をカスタマイズすることができます。

SuperTooltip for WinForms

サブ画像

サブタイトルの左に表示される画像です。画像は、**C1SuperTooltip エディタ**から追加するか、**画像コレクションの編集エディタ**を使用してコレクションに追加します。

Office タブを使用したタイトルの作成の詳細については、**デザイン時における C1SuperTooltips の作成**トピックを参照してください。

ラベル要素

C1SuperLabel コントロールは、HTML コンテンツを追加できる1個の本体から構成されています。次の図では、HTML を使用して、ラベルに表を追加しています。詳細については、**C1SuperLabels の作成**トピックを参照してください。

下記のテーブルを参照してください。

配置	名前	性別
行1列1	田中	男性
行1列2	山田	男性
行1列3	本田	女性
行1列4	川上	男性

本文

また、**C1SuperLabel エディタ**を使用してすばやくコンテンツを追加し、プレビューすることができます。エディタの詳細については、**C1SuperLabel エディタ**トピックを参照してください。

ErrorProvider の要素

C1SuperErrorProvider コントロールは、1つのアイコン画像と、エラーを示すために表示する任意の書式付き HTML から構成されています。

アイコン

テキスト

無効な国名
国名 フィールドが必須です。製品を発送するには、国名が必要となります。

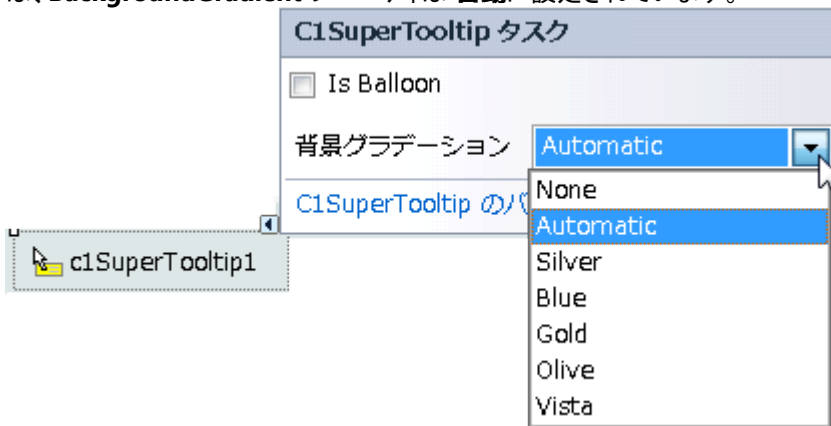
エラーメッセージの提供の詳細については、**C1SuperErrorProvider エラーメッセージの作成**トピックを参照してください。

C1SuperTooltip の外観

このセクションでは、**SuperTooltip for WinForms** コントロールの外観をカスタマイズに使用できる設定について概要を図解します。

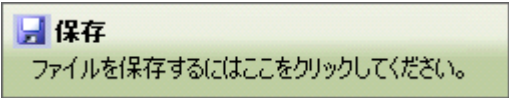
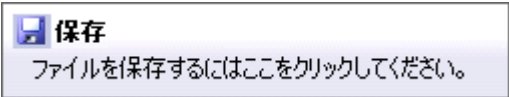
C1SuperTooltip の背景のグラデーション

C1SuperTooltip の外観は **BackgroundGradient** プロパティを変更することですばやく簡単にカスタマイズできます。**BackgroundGradient** プロパティは、デザイン時にプロパティウィンドウから簡単にアクセスできます。または、**C1SuperTooltip** タスクメニューから **背景のグラデーション** ドロップダウンボックスを選択します。デフォルトでは、**BackgroundGradient** プロパティは **自動** に設定されています。



C1SuperTooltip では次の背景のグラデーションを使用できます。

背景のグラデーション	プレビュー
なし	
自動	
銀色	
青	
金	

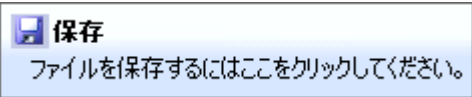
オリーブ	
Vista	

C1SuperTooltip の形状

IsBalloon プロパティと **RoundedCorners** プロパティを使用することで、**C1SuperTooltip** の外観をカスタマイズできます。

IsBalloon プロパティと RoundedCorners プロパティは、プロパティウィンドウからアクセスできます。また、IsBalloon プロパティは、**C1SuperTooltip タスク** メニューからもアクセスできます。

C1SuperTooltip では次の形状設定を使用できます。

形状設定	プレビュー
IsBalloon = False RoundedCorners = False	
IsBalloon = False RoundedCorners = True	
IsBalloon = True RoundedCorners = False	

IsBalloon プロパティと RoundedCorners プロパティの両方が **False** に設定されている場合（デフォルト）、ツールチップは矩形として表示されます。RoundedCorners が **True** に設定されている場合、ツールチップは角丸の四角形として表示されます。IsBalloon が **True** に設定されている場合、ツールチップは吹き出し型で表示されます。

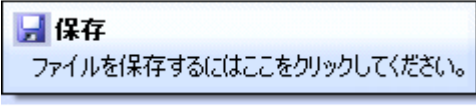

C1SuperTooltip の影

Shadow プロパティを設定することで、**C1SuperTooltip** の下に影を付けるかどうかを決定できます。デフォルトでは、Shadow プロパティは **True** に設定されています。

Shadow プロパティには、プロパティウィンドウからアクセスできます。

C1SuperTooltip には次の影設定を使用できます。

形状設定	プレビュー
Shadow = True	

	 <p>保存 ファイルを保存するにはここをクリックしてください。</p>
Shadow = False	 <p>保存 ファイルを保存するにはここをクリックしてください。</p>

タスク別ヘルプ

タスク別ヘルプは、Visual Studio でのプログラミングに精通し、コントロールをバインドする／バインドを解除する一般的な方法を理解していることが前提となります。**SuperTooltip for WinForms** 製品の初心者の場合は、**クイックスタート** を先にお読みください。

各トピックでは、**SuperTooltip for WinForms** 製品を使用した特定のタスクのソリューションを示します。ヘルプで概説されている手順に従うことによって、さまざまな **SuperTooltip for WinForms** 機能を利用したプロジェクトを作成できるようになります。

タスク別ヘルプの各トピックでは、読者が新規 .NET プロジェクトを作成した経験を持っていることも前提となります。

C1SuperTooltips の作成

以下のトピックでは、デザイン時の **C1SuperTooltips** の各種の作成方法について説明します。**C1SuperTooltip エディタ** を使用する方法、コードで作成する方法、カスケードスタイルシートを使用する方法、および HTML を使用する方法を示します。また、複数のツールチップを追加する方法、**C1SuperTooltip** の外観と動作設定の調整方法、ツールチップに画像を追加する方法も示します。

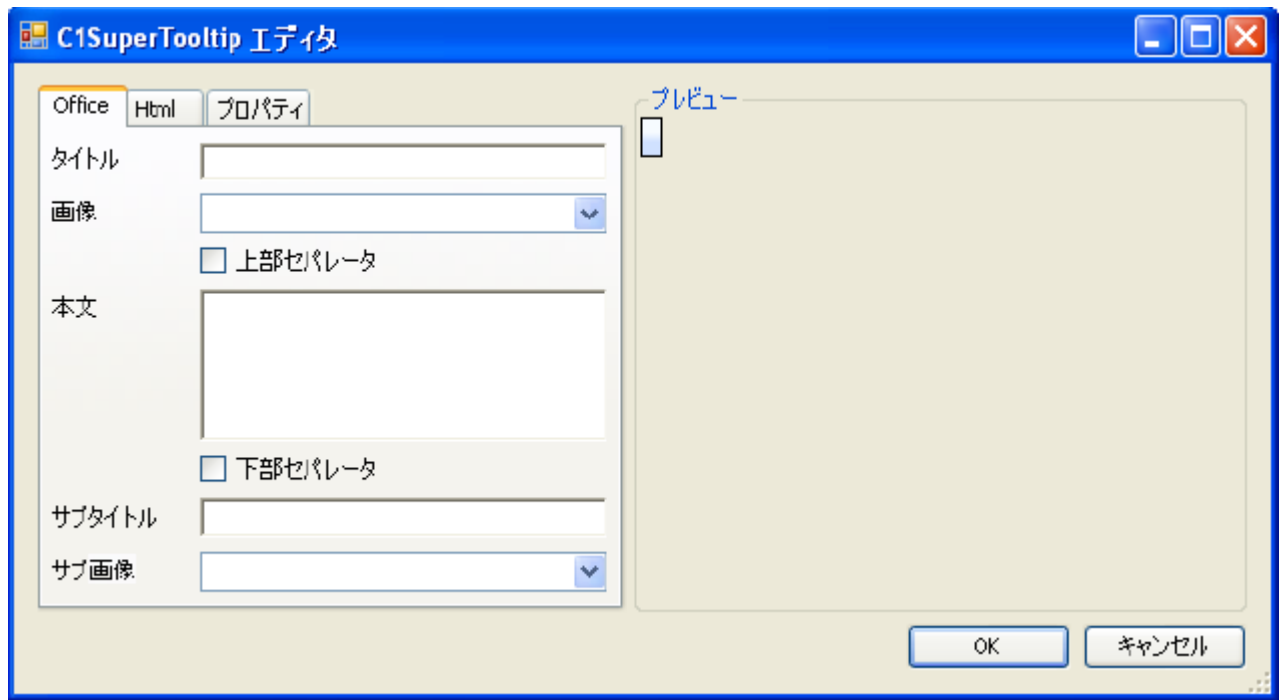
デザイン時における C1SuperTooltips の作成

C1SuperTooltip にはデザイン時エディタの **C1SuperTooltip エディタ** があり、アプリケーションのツールチップを簡単に作成できます。以下のトピックでは、このエディタを使用して、ツールチップを作成し、外観と動作を変更する方法を示します。ツールチップは、アプリケーション内でマウスカーソルを項目の上に置いたときにヘルプ情報を表示するために使用されます。通常、ツールチップにはプレーンテキストのみが含まれます。C1SuperTooltip を使用すると、画像、表、番号付きリスト、箇条書きリスト、ネストされたリストを含む HTML コンテンツを表示できます。

C1SuperTooltip は任意の System.Windows.Forms コントロールまたは System.Windows.Forms.ToolStripItem と関連付けることができます。

C1SuperTooltip をアプリケーションに追加するには、次の手順に従います。

1. ツールボックスで C1SuperTooltip コンポーネントをダブルクリックし、フォームに追加します。
2. C1SuperTooltip を関連付けるコントロールを選択します。
3. プロパティウィンドウで、**C1SuperTooltip1** の **ToolTip プロパティ** の横の〈...〉ボタンをクリックします。



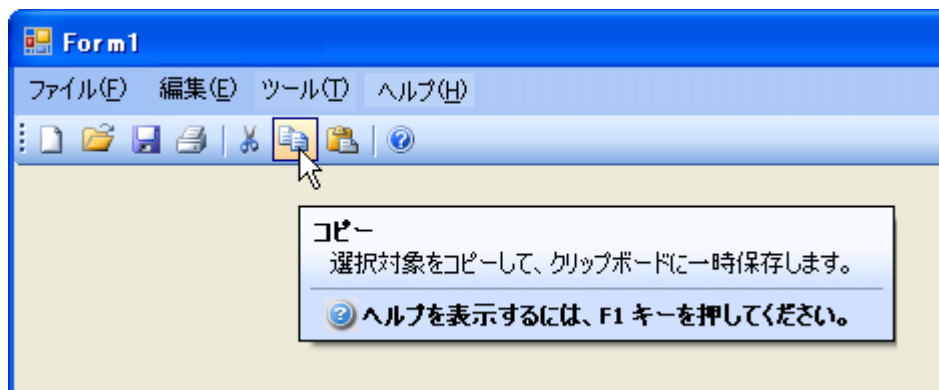
デザイン時にツールチップのコンテンツを作成する方法は2つあります。**Office** タブを使用する方法と、**Html** タブを使用して独自の HTML コードを手動で入力する方法です。この例では **Office** タブを使用しますが、お望みであれば **Html** タブをクリックしてコードを入力しても構いません。**Office** タブを使用する場合、ツールチップの背後で、**C1SuperTooltip** によって自動的に HTML コードが作成されます。

4. ツールチップをセットアップするには、次の手順に従います。
 1. **タイトル** フィールドにツールチップのタイトルを入力します。タイトルは、画像があればその右に表示されます。
 2. **画像** プロパティの横のドロップダウン矢印をクリックして、ツールチップタイトルの横に表示する画像を選択します。
 3. タイトルテキストの下に、ツールチップのタイトルと本文を分割する線を引きたい場合は、**上部区切り線** チェックボックスを ON にします。
 4. **本文** フィールドに**C1SuperTooltip** のテキストを入力します。
 5. 本文の下に、本文とサブタイトルを分割する線を引きたい場合、**下部セパレータ** チェックボックスを ON にします。
 6. **サブタイトル** フィールドにツールチップのサブタイトルを入力します。サブタイトルは、サブ画像があればその右に表示されます。
 7. **サブ画像** プロパティの横のドロップダウン矢印をクリックして、サブタイトルの横に表示する画像を選択します。

ツールチップのプレビューが**プレビュー**ウィンドウに表示されます。

5. **プロパティ** タブを選択し、**C1SuperTooltip1** に必要なプロパティを設定します。たとえば、ツールチップのテキストと背景色の変更、背景画像の追加、ツールチップウィンドウを表示する時間の長さや表示するまでの時間の変更などを行えます。プロパティの完全なリストについては、**C1SuperTooltip** プロパティを参照してください。

アプリケーションを実行し、**C1SuperTooltip** が関連付けられたコントロールの上にマウスカーソルを置くと、ツールチップが表示されます。



プログラムによる C1SuperTooltip の作成

以下のトピックでは、**C1SuperTooltip** をコードで作成する方法について説明します。**SetToolTip** メソッドを使用して、**C1SuperTooltip** テキストを指定し、それをコントロールに関連付けることができます。

SetToolTip メソッドでは、先にツールチップを関連付けるコントロールまたは **Windows.Forms.ToolStripItem** を指定してから、ツールチップテキストの作成に使用する文字列または HTML コードを追加します。

SetToolTip メソッドのコードは次のようになります。

```
C1SuperTooltip1.SetToolTip(Control, String)
```

または

```
C1SuperTooltip1.SetToolTip(ToolStripItem, String)
```

注意: 次の例では、画像の含まれている埋め込みリソースを使用します。リソースを埋め込むには、**プロジェクト→プロジェクト名のプロパティ**を選択します。**リソースの追加**を選択し、この例では既存のファイル NewDoc.png を選択して追加します(または新しいファイルを追加します)。次にソリューションエクスプローラで、リソースファイルを選択し、プロパティウィンドウで **Build Action** プロパティを **Embedded Resource** に設定します。

コントロールの C1SuperTooltip をプログラムで作成するには、次の手順に従います。

1. C1SuperTooltip コントロールを追加し、それをフォームに関連付けます。この例では、Button1 コントロールを使用します。
2. 次のコードを **Form_Load** イベントに追加します。このコードでは、画像 NewDoc.png の含まれる埋め込みリソースを使用しますが、他の画像を使用しても構いません。

▶ Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

```
C1SuperTooltip1.SetToolTip(Button1, "<table><tr> + _  
<td><img src='NewDoc.png'></td>" + _  
<th>New Document</th>" + "</tr></table>")
```

▶ C# コードの書き方

C#

```
c1SuperTooltip1.SetToolTip(button1, "<table><tr> +  
<td><img src='NewDoc.png'></td>" +  
<th>New Document</th>" + "</tr></table>");
```


3. プロジェクトを実行します。コードから次の図のような C1SuperTooltip が作成されます。



ToolStripItem の C1SuperTooltip をプログラムで作成するには、次の手順に従います。

1. C1SuperTooltip コントロールと **System.Windows.ToolTip** コントロールをフォームに追加します。この例では、ボタンを **ToolStrip** に追加しています。
2. 次のコードを **Form_Load** イベントに追加します。このコードでは、画像 NewDoc.png の含まれる埋め込みリソースを使用しますが、他の画像を使用しても構いません。

▶ Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

```

' デフォルトツールチップを隠し、C1SuperTooltip のみ見えるようにします。
ToolStripButton1.AutoToolTip = False
C1SuperTooltip1.SetToolTip(ToolStripButton1, "<table><tr>" + _
"<td><img src='NewDoc.png'></td>" + _
"<th>New Document</th>" + "</tr></table>")
    
```

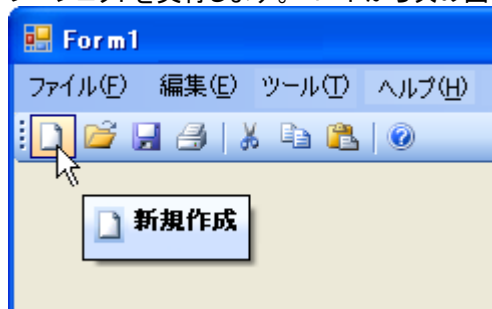
▶ C# コードの書き方

C#

```

// デフォルトツールチップを隠し、C1SuperTooltip のみ見えるようにします。
toolStripButton1.AutoToolTip = false;
c1SuperTooltip1.SetToolTip(toolStripButton1, "<table><tr>" +
"<td><img src='NewDoc.png'></td>" +
"<th>New Document</th>" + "</tr></table>");
    
```

3. プロジェクトを実行します。コードから次の図のような C1SuperTooltip が作成されます。



詳細については、SetToolTip メソッドを参照してください。

カスケードスタイルシートを使用した C1SuperTooltip の作成

以下のトピックでは、カスケードスタイルシートをツールチップに適用し、ツールチップがアプリケーション内でどこにどのように表示されるかを完全に制御する方法を説明します。 **SuperTooltip for WinForms** では、カスケードスタイルシートを含むほ

SuperTooltip for WinForms

とんどの HTML 機能をサポートしており、アプリケーション内でツールチップがどこにどのように表示されるかを詳細に制御できます。単純にコード内にカスケードスタイルシートを作成し、ツールチップを作成し、スタイルシートのスタイルをツールチップに適用します。以下のトピックでは、カスケードスタイルシートをツールチップに適用し、ツールチップがアプリケーション内でどこにどのように表示されるかを完全に制御する方法を説明します。SuperTooltip for WinForms では、カスケードスタイルシートを含むほとんどの HTML 機能をサポートしており、アプリケーション内でツールチップがどこにどのように表示されるかを詳細に制御できます。単純にコード内にカスケードスタイルシートを作成し、ツールチップを作成し、スタイルシートのスタイルをツールチップに適用します。

次の例では、**デザイン時における C1SuperTooltips の作成** トピックで **C1SuperTooltip エディタ** を使用して作成したのと同じ、Microsoft Vista スタイルのツールチップを作成しています。ただし、このツールチップはカスケードスタイルシートを使用してコードで作成しています。以下の手順に表れるコードは、**Form_Load** イベントに配置してあります。

1. カスケードスタイルシートを作成します。

▶ Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

```
Dim myCSS As String
```

カスケードスタイルシートを作成

```
myCSS = "<style type='text/css'>" + _  
".header{font-family: tahoma; font-weight: bold; margin-left: 2px; vertical-align:middle}" + _  
".body{font-family: tahoma; margin-left: 8px}" + _  
"img{vertical-align: middle}" + _  
"td{vertical-align:middle}" + _  
"p{border-bottom: medium solid #999999; border-bottom-width:1px}" + _  
"</style>"
```

▶ C# コードの書き方

C#

```
string myCSS;
```

//カスケードスタイルシートを作成

```
myCSS = "<style type='text/css'>" +  
".header{font-family: tahoma; font-weight: bold; margin-left: 2px; vertical-align:middle}" +  
".body{font-family: tahoma; margin-left: 8px}" +  
"img{vertical-align: middle}" +  
"td{vertical-align:middle}" +  
"p{border-bottom: medium solid #999999; border-bottom-width:1px}" +  
"</style>";
```

2. ツールチップのヘッダーと本文を作成し、カスケードスタイルシートからスタイルを適用します。

▶ Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

```
Dim TipBuilder, TipBody, TipHeader As String
```

'ツールチップのヘッダーまたはタイトルを作成

```
TipHeader = "<div class='header'>" + "Copy" + "</div>"
```

'ツールチップの本文を作成

```
TipBody = "<table width=160px>" + _  
"<tr>" + _
```

```

"<td>" + _
"<div class='body'>" + "Copy the selection and put" +
"it<br>on the Clipboard." + "</div>" + _
"</td>" + _
"</tr>" + _
"</table>" + _
"<p></p>" + _
"<table cellpadding=0>" + _
"<tr>" + _
"<td>" + _
"<img src='HelpButton.png'>" + _
"</td>" + _
"<td>" + _
"<div class='header'>" + _
"Press F1 for help." + _
"</div>" + _
"</tr>" + _
"</table>"

```

▶ C# コードの書き方

```

C#
string TipBuilder, TipBody, TipHeader;

// ツールチップのヘッダーまたはタイトルを作成
TipHeader = "<div class='header'>" + "Copy" + "</div>";
// ツールチップの本文を作成ToolTip
TipBody = "<table width=160px>" +
"<tr>" +
"<td>" +
"<div class='body'>" + "Copy the selection and put" +
"it<br>on the Clipboard." + "</div>" +
"</td>" +
"</tr>" +
"</table>" +
"<p></p>" +
"<table cellpadding=0>" +
"<tr>" +
"<td>" +
"<img src='HelpButton.png'>" +
"</td>" +
"<td>" +
"<div class='header'>" +
"Press F1 for help." +
"</div>" +
"</tr>" +
"</table>";

```

注意: この例では、画像の含まれている埋め込みリソースを使用します。リソースを埋め込むには、**プロジェクト→プロジェクト名のプロパティ**を選択します。**リソースの追加**を選択し、この例では既存のファイル HelpButton.png を選択して追加します(または新しいファイルを追加します)。次にソリューションエクスプローラで、リソースファイルを選択し、プロパティウィンドウで **Build Action** プロパティを **Embedded Resource** に設定します。

SuperTooltip for WinForms

- バラバラのツールチップの部品を組み上げ、カスケードスタイルシートを適用します。

▶ Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

```
'ツールチップのヘッダーと本文を組み合わせ、カスケードスタイルシートを適用します。  
TipBuilder = myCSS + TipHeader + TipBody
```

▶ C# コードの書き方

C#

```
// ツールチップのヘッダーと本文を組み合わせ、カスケードスタイルシートを適用します。  
TipBuilder = myCSS + TipHeader + TipBody;
```

- Vista の書式設定を適用し、ツールチップをボタンコントロールに関連付けます。

▶ Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

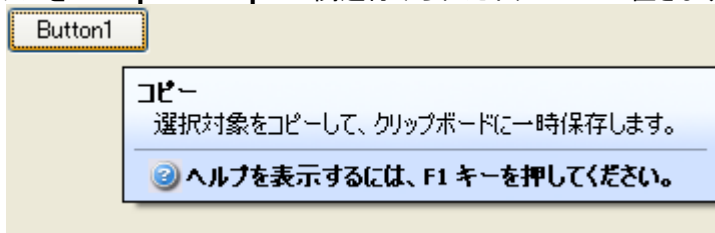
```
' Vista の背景のグラデーションを適用し、ツールチップを Button1 に関連付け  
C1SuperTooltip1.BackgroundGradient = C1.Win.C1SuperTooltip.BackgroundGradient.Vista  
C1SuperTooltip1.SetToolTip(Button1, TipBuilder)
```

▶ C# コードの書き方

C#

```
// Vista の背景のグラデーションを適用し、ツールチップを Button1 に関連付け  
c1SuperTooltip1.BackgroundGradient = C1.Win.C1SuperTooltip.BackgroundGradient.Vista;  
c1SuperTooltip1.SetToolTip(button1, TipBuilder);
```

- プロジェクトを実行し、マウスカーソルを **C1SuperTooltip1** の関連付けられたボタンの上に置きます。Vista スタイル



のツールチップが表示されます。

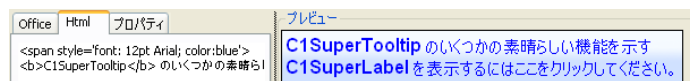
HTML を使用した C1SuperTooltip の追加

すべて独自の HTML コードを使用してツールチップを作成する場合は、**C1SuperTooltip** エディタの **Html** タブに入力します。

HTML を使用して **C1SuperTooltip** を追加するには、次の手順に従います。

- プロジェクト内で **C1SuperTooltip** を作成するコントロールを選択します。
- プロパティウィンドウで、**C1SuperTooltip1** の **ToolTip** プロパティの横の(…)ボタンをクリックし、**C1SuperTooltip** エディタを開きます。
- Html** タブを選択します。
- 以下の HTML コードを **Html** テキストボックスに入力します。
C1SuperTooltip のいくつかの素晴らしい機能を示す C1SuperLabel を表示するにはここをクリックしてください。

C1SuperTooltip のプレビューが**プレビュー**ウィンドウに表示されます。



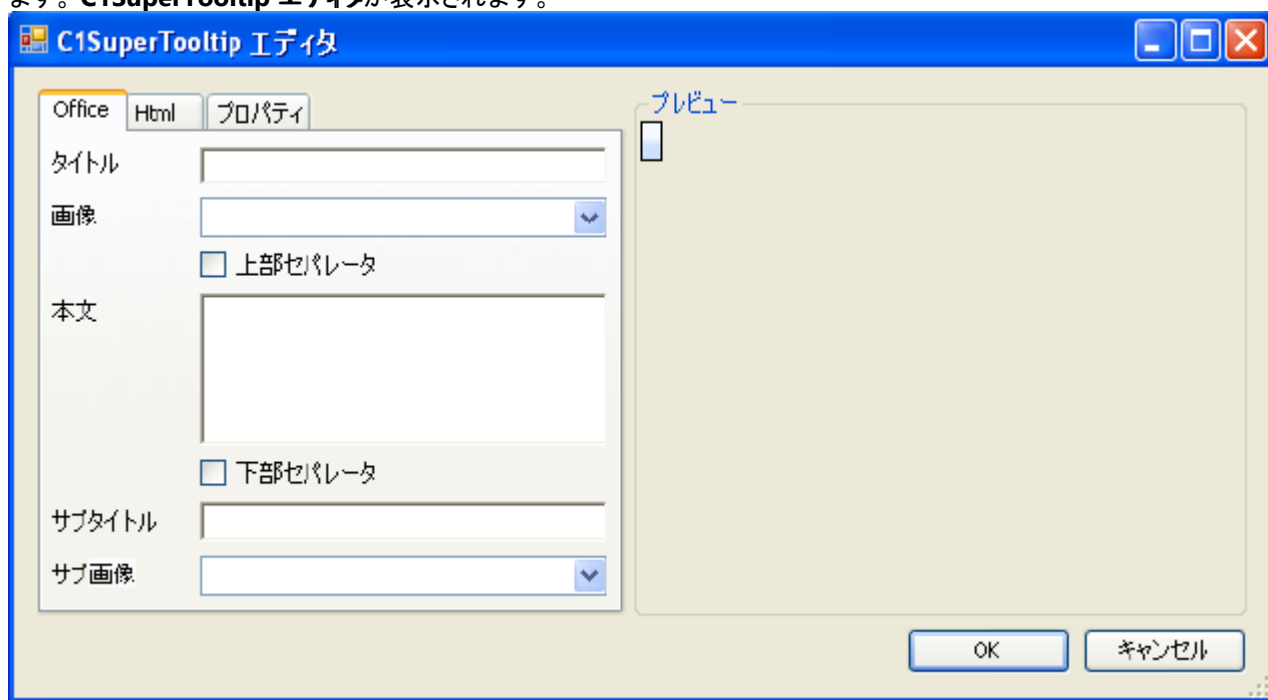
- プロパティ**タブをクリックします。ForeColor プロパティが **InfoText** に設定され、Font プロパティが **Tahoma, 8pt** に設定されている点に注意してください。ただし、デフォルトでは、ツールチップのプレビューは、青の前景色、Arial、12pt のフォントで表示されます。これは、HTML コードでテキストを タグで書式設定した場合、エディタの **プロパティ** タブで指定されたプロパティでは上書きできなくなるためです。
- OK** をクリックして、エディタを閉じます。

複数の C1SuperTooltips の追加

プロジェクトに複数のツールチップを追加することもできます。これは、ツールチップを独自の HTML コードで書式設定しておらず、かつツールチップの外観プロパティをそれぞれ変えたい場合に便利です。また、作成方法にかかわらず、ツールチップごとに動作を変えたい場合にも有効です。

複数のツールチップを追加する場合、ツールチップをコントロールに関連付けるときに正しいツールチップを指定していることを確認してください。1つのコントロールに複数のツールチップを指定した場合、プロジェクトを実行して、マウスカーソルをコントロール上に置いたときに、指定したすべてのツールチップが表示されます。

1. この例では、フォーム上に2つのボタンがあるプロジェクトを使用します。2つの **C1SuperTooltip** コントロールを追加します。
2. **Button1** を選択して、プロパティウィンドウで **C1SuperTooltip1** の **ToolTip** プロパティの横の〈...〉ボタンをクリックします。**C1SuperTooltip エディタ**が表示されます。



3. **Office** タブを使用するか、**Html** タブに HTML コードを追加して、ツールチップを作成します。
4. **プロパティ** タブでいくつかのプロパティを設定して、**OK** をクリックします。
5. **Button2** を選択して、プロパティウィンドウで **C1SuperTooltip2** の **ToolTip** プロパティの横の〈...〉ボタンをクリックします。
6. **C1SuperTooltip1 エディタ**で、2つ目のツールチップを作成し、**プロパティ** タブをクリックします。
7. いくつかのプロパティに **C1SuperTooltip1** とは異なる値を設定します。
8. **OK** をクリックして、エディタを閉じます。 **C1SuperTooltip1** の **ToolTip** プロパティは、**Button2** に対しては空のままです。
9. プロジェクトを実行し、各ボタンにマウスカーソルを置きます。 **Button1** にカーソルを置いたときに **C1SuperTooltip1** がどのように表示されるか、 **Button2** にカーソルを置いたときに **C1SuperTooltip2** がどのように表示されるかを確認してください。使用した設定に応じてスタイルと動作が異なっているはずですが。

C1SuperTooltip の外観と動作の設定の変更

ツールチップの外観と動作の設定を変更する方法は2つあります。 **C1SuperTooltip エディタ**を使用する方法と **C1SuperTooltip** コントロールのスマートタグとプロパティウィンドウを使用する方法です。

C1SuperTooltip エディタでの変更

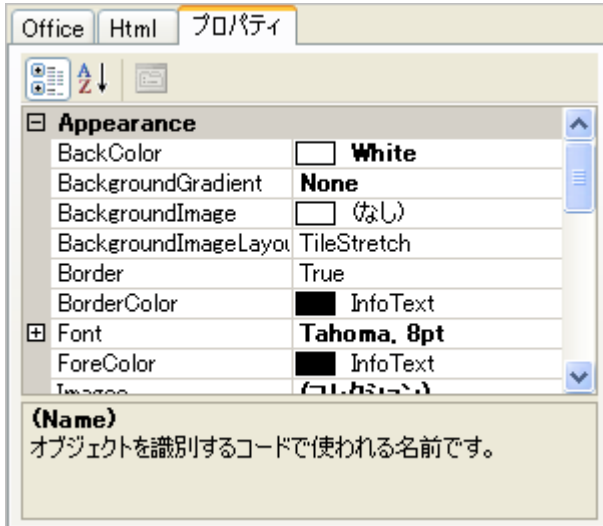
In the **C1SuperTooltip エディタ**では、**Office** タブを使用して、ツールチップの画像、タイトル、サブタイトル、および本文を追

SuperTooltip for WinForms

加できます。ツールチップの背後にあるすべての HTML コードは、C1SuperTooltip によって自動的に作成され、時間と作業を節約できます。エディタによる自動化が必要ない場合は、まったく同じツールチップを、エディタの **Html** に独自の HTML コードを入力することで作成することもできます。これら2つのタブを使用する場合、変更および設定内容は、フォームで選択したコントロールのツールチップに対してのみ適用されます。

一方 **プロパティ** タブでは、ツールチップの全体的な外観と動作をカスタマイズできます。設定はツールチップが関連付けられているすべてのコントロールに適用されます。

1. プロジェクト内で C1SuperTooltip を作成するコントロールを選択します。
2. プロパティウィンドウで、**C1SuperTooltip1 の Tooltip** プロパティの横の〈...〉ボタンをクリックし、**C1SuperTooltip エディタ** を開きます。
3. **プロパティ** タブを選択します。



4. 以下の各プロパティを設定します。
 - **BackColor** プロパティの横のドロップダウン矢印をクリックして、**Web** タブを選択し、色を選択します。
 - **BackgroundGradient** プロパティを **None** に設定します。このプロパティに **None** 以外の値が設定されている場合、背景色は表示されません。
 - **ForeColor** プロパティの横のドロップダウン矢印をクリックして、**Web** タブを選択し、色を選択します。
 - **Shadow** プロパティを **False** に設定します。
 - **Border** プロパティを **False** に設定します。
 - **Font** プロパティノードを拡張して、**Size** を **14** に設定します。
5. マウスカーソルが各ボタンの上にあるときにツールチップを表示しておく時間をミリ秒単位で変更するため、**AutoPopDelay** プロパティを **1000** に設定します。
6. プロジェクトを実行し、ツールチップを関連付けたコントロールの上にマウスカーソルを置きます。使用した設定に応じて、ツールチップが次の図のように表示されます。

C1Supertooltip のいくつかの素晴らしい機能を示す **C1SuperLabel** を表示するにはここをクリックしてください。

C1SuperTooltip コントロールを使用した設定の変更

スマートタグを使用して、ツールチップの背景色と、ツールチップが吹き出し型で表示されるか矩形に表示されるかを指定できます。詳細については、**C1SuperTooltip のタスクメニューとコンテキストメニュー** を参照してください。

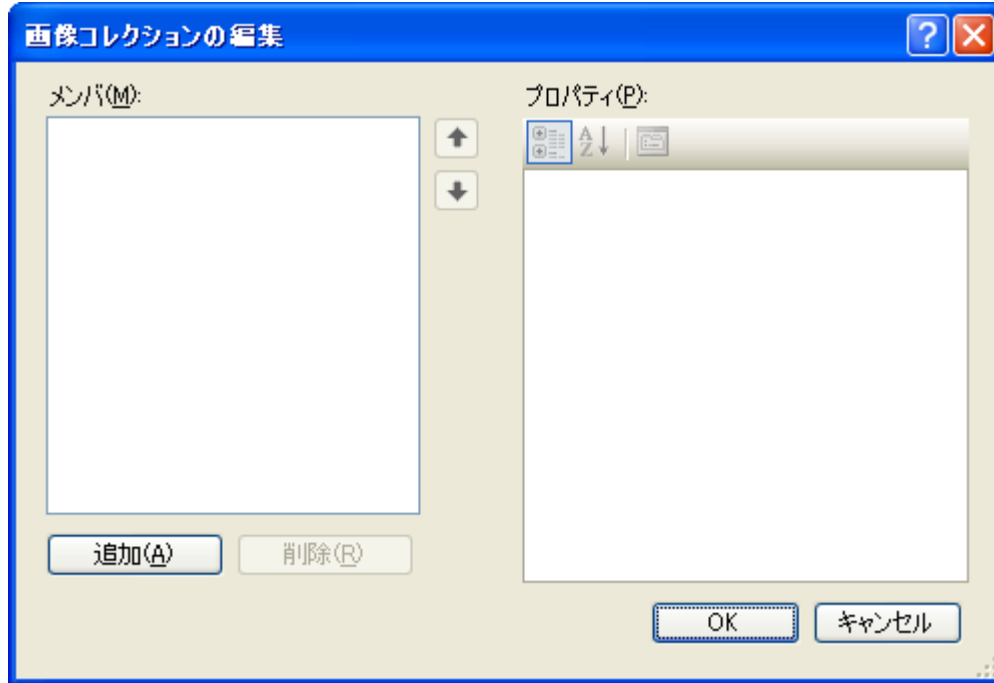
Visual Studio のプロパティウィンドウを使用して、すべての C1SuperTooltip プロパティを変更できます。これは、**C1SuperTooltip エディタ** の **プロパティ** タブに表示されるプロパティのリストと同じものです。

1. プロパティウィンドウにアクセスするには、C1SuperTooltip コントロールを右クリックして、**プロパティ** を選択します。
2. 目的のプロパティを設定します。

C1SuperTooltip への画像の追加

SuperTooltip for WinForms では、アニメーション付き画像を含む画像のデザイン時の追加をサポートしています。最初に画像を C1SuperTooltip 画像コレクションに追加し、**C1SuperTooltip エディタ**で画像を選択します。

1. **C1SuperTooltip** コントロールをフォームに追加します。
2. C1SuperTooltip コントロールを選択し、プロパティウィンドウで、**Images** プロパティの横の〈...〉ボタンをクリックします。 **画像コレクションの編集** エディタが表示されます。



3. **追加** ボタンをクリックして、使用する画像のある場所に移動します。
4. 画像を選択して、**開く**をクリックします。ツールチップの画像コレクションに画像が追加されます。
5. **OK**をクリックして、**画像コレクションの編集**エディタを閉じます。
6. **C1SuperTooltip** を関連付けるコントロールを選択します。
7. **ToolTip on C1SuperTooltip1** プロパティの横の〈...〉ボタンをクリックします。

ツールチップの画像コレクションに追加した画像は、**Office** ブの[**画像**]または**サブ画像**ドロップダウンリストから選択できます。独自の HTML コードを使用する場合は、**Html** タブをクリックして、コード内で次のように画像を参照します。

```
<img src= "res://mybitmap.png" />
```

C1SuperLabels の作成

以下のトピックでは、デザイン時に **C1SuperLabels** を作成する方法について説明します。**C1SuperLabel エディタ**を使用する方法とコード内でプログラマ的に作成する方法を説明し、さらにラベルに画像を追加する方法についても説明します。

デザイン時における C1SuperLabels の作成

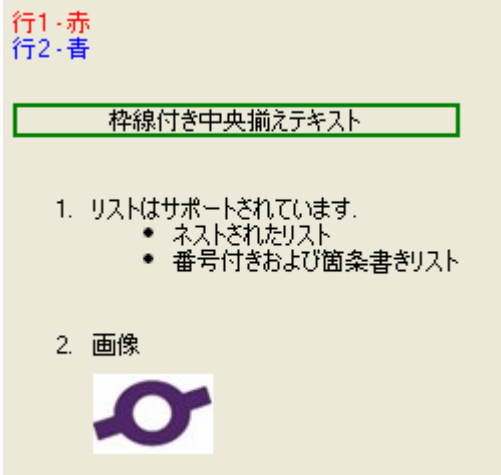
SuperTooltip for WinForms にはデザイン時エディタの **C1SuperLabel エディタ**があり、アプリケーションのラベルを簡単に作成できます。このトピックでは、このエディタを使用して、ラベルを作成し、外観と動作を変更する方法を示します。

C1SuperLabel コンポーネントは、**Label** コントロールに非常によく似ていますが、プレーンテキストだけでなく HTML コンテンツを表示できる点だけ異なります。テーブル、画像、リスト、書式付きテキストなどを含む HTML ページをラベル内に表示することができます。

C1SuperLabel をアプリケーションに追加するには、次の手順に従います。

1. ツールボックスで C1SuperLabel コンポーネントをダブルクリックし、フォームに追加します。
2. **Text** プロパティの横の〈...〉ボタンをクリックします。**C1SuperLabel エディタ**が表示されます。

- HTML コードを入力します。
- アプリケーションを実行すると、レンダリングされた HTML が C1SuperLabel 内に表示されます。



プログラムによる C1SuperLabel の作成

C1SuperLabel プログラムによる C1SuperLabel の作成 **Text** プロパティを使用してコントロールに関連付けます。必要なのはテキストを文字列として追加するだけです。プレーンテキストまたは HTML コードを追加できます。

プログラムで C1SuperLabel を作成するには、次の手順に従います。

- C1SuperLabel をフォームに追加します。
- 次のコードを **Form_Load** イベントに追加します。2つの図とテキストを含む2行のテーブルをラベルに追加します。

▶ Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

'C1SuperLabel に 2 行を追加

```
C1SuperLabel1.Text = _  
    "<table>" + _  
    "<tr>" + _  
    "<td><img src='search.png'>" + _  
    "<td>This is the second cell in the top row" + _  
    "<tr>" + _  
    "<td><img src='up.png'>" + _  
    "<td>This is the second cell in the bottom row." + _  
    "</table>"
```

'コンテンツがすべて表示されるようにラベルのサイズを自動的に調整

```
C1SuperLabel1.AutoSize = True
```

▶ C# コードの書き方

C#

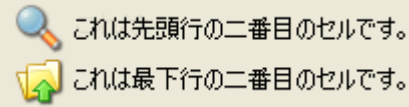
// C1SuperLabel に 2 行を追加

```
c1SuperLabel1.Text =  
    "<table>" +  
    "<tr>" +  
    "<td><img src='search.png'>" +  
    "<td>This is the second cell in the top row" +  
    "<tr>" +
```



```
"<td><img src='up.png'>" +
"<td>This is the second cell in the bottom row." +
"</table>";
//コンテンツがすべて表示されるようにラベルのサイズを自動的に調整
c1SuperLabel1.AutoSize = true;
```

- プロジェクトを実行します。コードから次の図のような C1SuperLabel が作成されます。



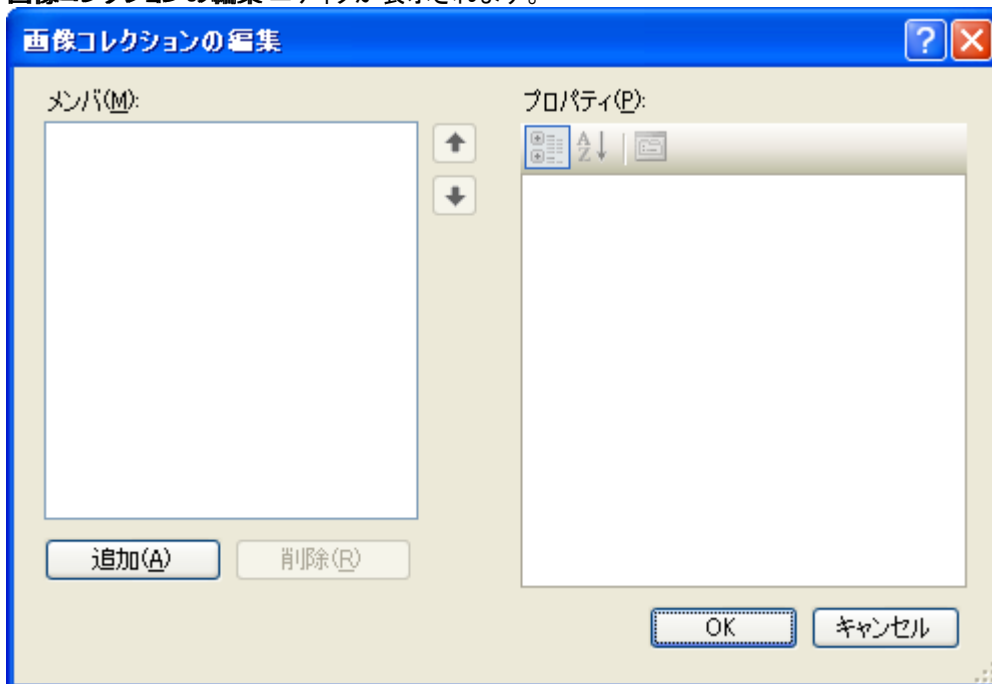
注意: この例では、画像の含まれる埋め込みリソースを使用しています。search.png と up.png です。リソースを埋め込むには、**プロジェクト** → **プロジェクト名のプロパティ** を選択します。**リソースの追加** を選択して、追加する既存のファイルを選択するか、新しいファイルを追加します。次にソリューションエクスプローラで、リソースファイルを選択し、プロパティウィンドウで **Build Action** プロパティを **Embedded Resource** に設定します。

詳細については、Text プロパティを参照してください。

C1SuperLabel への画像の追加

SuperTooltip for WinForms では、アニメーション付き画像を含む画像のデザイン時の追加をサポートしています。最初に画像を C1SuperTooltip 画像コレクションに追加し、**C1SuperTooltip エディタ** で画像を選択します。

- C1SuperLabel** コントロールをフォームに追加します。
- C1SuperLabel コントロールを選択し、プロパティウィンドウで、**Images** プロパティの横の〈...〉ボタンをクリックします。**画像コレクションの編集** エディタが表示されます。



- 追加** ボタンをクリックして、使用する画像のある場所に移動します。
- 画像を選択して、**開く** をクリックします。ツールチップの画像コレクションに画像が追加されます。
- OK** をクリックして、**画像コレクションの編集** エディタを閉じます。
- Text** プロパティの横の〈...〉ボタンをクリックします。property.

ラベルの画像コレクションに追加した画像は、HTML コードを入力するときに次のようにして参照できます。

```
<img src= "res://mybitmap.png" />
```

C1SuperErrorProvider エラーメッセージの作成

以下のトピックでは、エラーメッセージの作成、エラーメッセージアイコンの変更、C1SuperErrorProvider コントロールでのデータソースの使い方、その他について説明します。

エラーメッセージの作成

HTML で書式設定されたエラーメッセージを作成し、コントロールにポップアップさせることができます。この例では、**txtCountry** という名前のテキストボックスにエラーメッセージを追加します。

1. **C1SuperErrorProvider** コントロールをフォームに追加します。**C1SuperTooltip** がフォームに自動的に追加され、C1SuperErrorProvider コントロールと接続されます。
2. Visual Studio の **表示** メニューで **コード** を選択します。
3. 次のコードを **Form_Load** イベントに追加します。

▶ Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

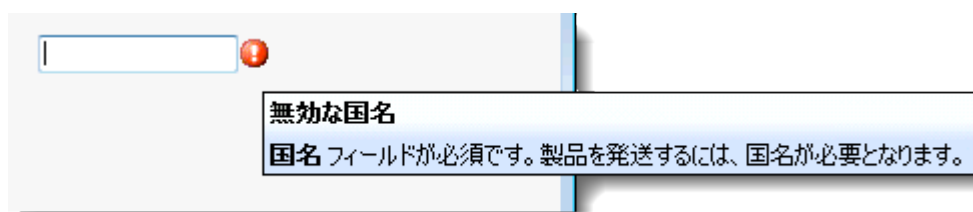
```
C1SuperErrorProvider1.SetError(txtCountry,
"<b>Invalid Country</b> <br/>" & "
<p>The <b>Country</b> field is required. We need it in order to ship the product.</p>")
```

▶ C# コードの書き方


C#

```
c1SuperErrorProvider1.SetError(txtCountry,
"<b>Invalid Country</b> <br/>" +
"<p>The <b>Country</b> field is required. We need it in order to ship the product.</p>");
```

プロジェクトを実行して、マウスカーソルをエラーメッセージアイコンの上に置くと、次の図のようにエラーメッセージが表示されます。

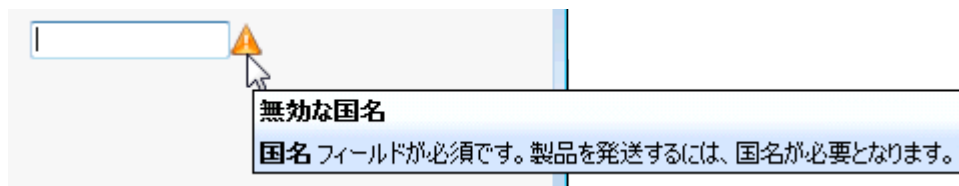


エラーメッセージアイコンの変更

C1SuperErrorProvider, でエラーメッセージを作成した場合、デフォルトの警告アイコン  が使用されます。このアイコンは、You can change this to any icon file you like using the **Icon** プロパティを使用して、任意のアイコンファイルに変更できます。フォームに C1SuperErrorProvider コントロールを追加済みであるとして、エラーメッセージアイコンを変更するには、次の手順に従います。

1. C1SuperErrorProvider コントロールを右クリックして、**プロパティ** を選択し、Visual Studio のプロパティウィンドウを開きます。
2. Icon プロパティの横の **<...>** ボタンをクリックします。
3. アイコンファイル (*.ico) を選択し、**開く** をクリックします。

プロジェクトを実行すると、エラーメッセージに新しいアイコン画像が表示されます。



エラーメッセージの点滅スタイルの変更

C1SuperErrorProvider でエラーメッセージを作成する場合、デフォルトではエラーメッセージアイコンが点滅します。時々点滅する、常に点滅する、または点滅しないオプションから選択できます。アイコンをクリックすると点滅は止まります。点滅スタイルを変更するには、次の手順に従います。

1. **C1SuperErrorProvider** コントロールをフォームに追加します。
2. **C1SuperErrorProvider** スマートタグをクリックして、**タスク** メニューを開きます。
3. **BlinkStyle** プロパティの横のドロップダウン矢印をクリックして、**BlinkIfDifferentError**、**AlwaysBlink**、または **NeverBlink** を選択します。

エラーアイコンの上にカーソルを置いたときに画像を表示する

ImageHot プロパティを使用して、マウスポインタをエラーアイコンの上に置いたときに画像を表示してフィードバックすることができます。

エラーアイコンの上にカーソルを置いたときに画像を表示するには、次の手順に従います。

1. **C1SuperErrorProvider** コントロールをフォームに追加します。**C1SuperTooltip** がフォームに自動的に追加され、**C1SuperErrorProvider** コントロールと接続されます。
2. Visual Studio の **表示**メニューで **コード** を選択します。
3. 次のコードを **Form_Load** イベントに追加します。

▶ Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

```
C1SuperErrorProvider1.ImageHot =
System.Drawing.Image.FromFile("c:\\MyFiles\\Level1Warning.bmp")
```

▶ C# コードの書き方

C#

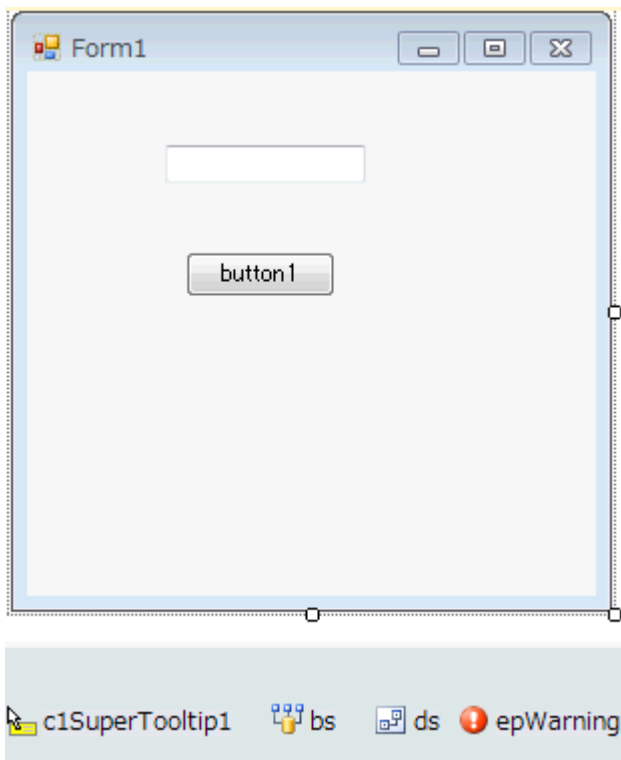
```
c1SuperErrorProvider1.ImageHot =
System.Drawing.Image.FromFile("c:\\MyFiles\\Level1Warning.bmp");
```

C1SuperErrorProvider でのデータソースの使用

C1SuperErrorProvider コントロールとデータソースを合わせて使用し、エラーをユーザーに示すことができます。

C1SuperErrorProvider を表示するには、**C1SuperTooltip** と関連付ける必要があります。ただし、ツールチップは空で構いません。**C1SuperErrorProvider** コントロールをフォームに追加すると、**C1SuperTooltip** が自動的に追加・接続されます。

このトピックでは、次の図のように、フォーム上にボタン、テキストボックス、およびデータソースがあることを前提としています。



1. C1SuperErrorProvider コントロールをフォームに追加します。
2. C1SuperErrorProvider スマートタグをクリックして、[タスク]メニューを開きます。
3. データソースの選択 の横のドロップダウン矢印をクリックし、フォーム上のデータソースを選択します。
4. **DataRow.SetColumnError** メソッドを使用して、エラーメッセージをデータフィールドに関連付けます。

▶ Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

```
Private Sub Button1_Click(ByVal sender As System.Object, ByVal e As System.EventArgs) Handles Button1.Click
    DirectCast(bs.Current, DataRowView).Row.SetColumnError("LastName", "これが<b>警告</b>メッセージです!")
End Sub
```

▶ C# コードの書き方

C#

```
private void button1_Click(object sender, EventArgs e)
{
    ((DataRowView)bs.Current).Row.SetColumnError("LastName",
        "これが<b>警告</b>メッセージです!");
}
```

5. 必要なコードを **Form_Load** イベントに追加し、テキストボックスをデータソースにバインドします。この例では、テキストボックスは .xml ファイルにバインドされています。

▶ Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

```
Private Sub Form1_Load(ByVal sender As System.Object, ByVal e As System.EventArgs) Handles MyBase.Load
```

```
ds.DataSetName = "AuthorsDataSet"  
ds.ReadXml("../..\authors.xml", System.Data.XmlReadMode.Auto)  
bs.DataMember = "authors"  
  
TextBox1.DataBindings.Add(New Binding("Text", bs, "LastName"))  
End Sub
```

▶ C# コードの書き方

```
C#  
  
private void Form1_Load(object sender, EventArgs e)  
{  
    ds.DataSetName = "AuthorsDataSet";  
    ds.ReadXml(@"..\..\authors.xml", System.Data.XmlReadMode.Auto);  
    bs.DataMember = "authors";  
  
    textBox1.DataBindings.Add(new Binding("Text", bs, "LastName"));  
}
```

6. **F5** キーを押して、プロジェクトを実行し、ボタンをクリックします。警告アイコンが表示され、その上にマウスマウスカーソルを置くと、メッセージが表示されます。

